

# Guide Book to FOREIGN LANGUAGE STUDY

外国語学習ガイドブック 2023



「ことば」が結ぶ、君と世界とその未来

## 同志社大学の「国際主義」

高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7ヶ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。「ことば」の学習をきっかけとした様々な言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。

### 同志社大学 外国語学習の3つの特徴

1

語学レベルに  
合わせた習熟度別  
クラス編成を構築

2

学習意欲に  
応じて受講可能な  
学習プログラム

3

外国語学習への  
多様なサポート

### 外国語の授業を 受講するにあたっての心構え

「外国語の授業とは、教師と学習者との共同作業である」  
(Allwright, 1992)

外国語の授業とは、教師、学習者それぞれの役割を認識し、  
教師と学習者で共に作り上げていくものとなります。  
学生の皆さんは、学習者がなすべきことを認識し、授業に臨んでください。

#### 教師がなすべきこと

クラスをモニターする

- 学生の理解度
- 学生が授業についてきているか

学習者の習得に適したレベルの  
外国語を使用する

重要な事項は板書する

#### 学習者がなすべきこと

教師に尋ねる

- 指示がわからない時
- 質問がある時
- ゆっくり話してほしい時
- 板書してほしい時



こちらの外国語学習ガイドブックは新入生向けとなります。在学生は入学時に配布された外国語学習ガイドブックを確認してください。

## Contents

1	02 英語科目
	03 習熟度別クラス編成について
	04 科目概要
	05 1年次科目 登録方法
	07 同志社英語集中プログラムについて
2	08 初修外国語科目 (ドイツ語・フランス語・中国語・ スペイン語・ロシア語・コリア語)
	09 履修の流れ
	10 各外国語紹介
	16 1年次科目 登録方法
3	20 海外留学プログラム
	21 プログラム一覧
	22 プログラム報告・体験記
	37 プログラム統計(出願者・合格者)
4	38 外国語関連科目
5	41 外国語能力評価
6	42 多様なシステム・サポート体制
	42 "Go Global" ポートフォリオ
	44 e-Learning
	45 図書館の活用
	46 電子書籍の活用
	47 良心館ラーニング・コモンズ 「Global Village」の活用
	47 留学コーディネーター・ 留学アシスタント
	47 国際交流ラウンジ
	48 検定試験・対策講座
	49 留学に関する奨学金
	49 語学カウンセリング
7	50 制度紹介
	50 外国語honors(オナーズ)制度
	51 Doshisha "Go Global" Passport
	52 グローバル・リベラルアーツ副専攻

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEFL Essentials及び  
TOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の  
登録商標です。

※本冊子で使用している写真は新型コロナウイルス感染症拡大前  
に撮影したものが含まれています。

# English 英語科目



世界には約6,000の言語があるとも言われていますが、その中において、英語のlingua franca(共通語)としての地位、特に国際的なコミュニケーション・ツールとしての地位は、ゆるぎないものになっています。大学の4年間では、これまでに身につけた英語力をさらに補強しつつ、社会で期待される実践的な英語力の涵養を目指します。それと並行して、英語学習を通して様々な社会・文化・歴史などに触れることによって、社会人として必要な知識・教養を身につけてください。

同志社大学の英語カリキュラムは、全科目において習熟度別のクラス編成を実施している基幹科目、意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、そして海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。また、英語力の基盤づくりができれば、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」(→38ページ参照)にステップアップし、将来を見据えてさらに英語力を伸ばしていきたいでしょう。

## 英語科目学習プログラムの特徴

### POINT 01

1・2年次で履修する科目は、英語で専門領域を学ぶための基盤づくりを行う体系的な構成となっています。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的としています。

### POINT 02

入学前に受験したプレイズメントテストの結果により4つのレベルに分けます。さらに、レベルごとに到達目標を設定した科目を設置しており、レベルに応じた科目を履修します。それにより、習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、英語の運用能力や学修目標の多様化に対応しています。

### POINT 03

意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。

## 習熟度別クラス編成について

同志社大学では1・2年次生で履修する基幹科目において、習熟度別クラス編成を実施しています。入学前のプレイズメントテスト(本学ではCASECを採用)の結果に基づき、4つのレベルに分けます。

### 習熟度別に授業を行う目的

英語の運用能力や学修目標の多様化に対応し、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことを目的としています。

### レベル分けについて

プレイズメントテストの結果に基づき、英語能力の高い順から **High Intermediate** **Intermediate** **Pre-Intermediate** **Basic** の4つのレベルに分けたクラス編成を行います。

### 履修する科目について

同じ到達目標の同じ科目を全員が履修する仕組みではなく、個々のレベルに応じた到達目標を設定した科目を履修する仕組みになっています。各レベルの到達目標、及び履修する科目は次項以降を参照。

## 履修の流れ

標準的な年次配当

	1年次		2年次		3・4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<b>基幹科目</b> (※1)	Intensive Advanced English 1・2(各週2回・3単位)		General Academic English(LS) - Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Intermediate(週1回・1単位)			
	Core English(LS) - Intermediate 1・2(各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Core English(RW) - Intermediate 1・2(各週1回・1単位)		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Pre-Intermediate(週1回・1単位)			
	Core English(LS) - Pre-Intermediate 1・2(各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Core English(RW) - Pre-Intermediate 1・2(各週1回・1単位)		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Pre-Intermediate(週1回・1単位)			
	Basic English(LS) 1・2(各週2回・2単位) <sup>(※2)</sup> Basic English(RW) 1・2(各週1回・1単位)					
<b>上級科目</b>			English for Professional Purposes 1・2(各週1回・1単位) <sup>(※3)</sup>		English for Academic Purposes 3(週1回・2単位) <sup>(※4)</sup>	
<b>留学準備科目</b>			Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1・2(各週2回・2単位) <sup>(※3)</sup>		Study Abroad Preparation(IELTS) 1・2(各週2回・2単位) <sup>(※3)</sup>	
<b>海外留学プログラム</b>			サマープログラム		スプリングプログラム	
<b>派遣留学</b>					セメスタープログラム	
					外国協定大学派遣留学	

(※1) 習熟度のレベルによって履修する科目が異なります。各レベルの到達目標、及び履修する科目は次項以降を参照してください。  
(※2) 週2回の授業となりますが、対面授業1回、e-Learningによるオンライン授業1回のハイブリッド型の授業となります。利用するe-Learningは44ページを確認してください。  
(※3) 登録資格(CASECのスコア)がありますが、選考試験はありません。  
(※4) 登録資格(外部テストのスコア)があり、選考試験が行われます。

## 到達目標

レベル毎にヨーロッパ言語参照枠(CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)に準じて設定した到達目標は以下の通りです。

レベル	到達目標(CEFR)
High Intermediate	B2
Intermediate	B1~B2
Pre-Intermediate	A2~B1
Basic	A2

※レベルは入学前に受験したプレイズメントテストの結果で振り分けられますが、途中でレベルアップすることも可能です。学期の開始前の科目登録期間にCASECを受験する機会を設定しますので受験を希望する場合は、申込を行った上でCASECを受験してください。スコアに応じたレベルアップが可能です。CASEC受験の申込方法は、本学ホームページで公開する科目登録日程を確認してください。春学期は1月中旬、秋学期は7月中旬に科目登録日程が公開されます。

## 1・2年次履修科目

レベル毎に1・2年次で履修する科目は以下の通りです。

レベル	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
High Intermediate	Intensive Advanced English 1・2		English for Professional Purposes 1・2(※1)	
Intermediate	Core English(LS) - Intermediate 1・2 Core English(RW) - Intermediate 1・2		General Academic English(LS) - Intermediate General Academic English(RW) - Intermediate	
Pre-Intermediate	Core English(LS) - Pre-Intermediate 1・2 Core English(RW) - Pre-Intermediate 1・2		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate General Academic English(RW) - Pre-Intermediate	
Basic	Basic English(LS) 1・2 Basic English(RW) 1・2		(※2)	

(※1) 「レベル:High Intermediate」は、2年次に上級科目の「English for Professional Purposes 1・2」を履修します。  
(※2) 「レベル:Basic」は、2年次に「レベル:Pre-Intermediate」の1年次科目から希望の科目を選択して履修します。

## 科目概要

### 基幹科目

#### Intensive Advanced English1・2

高度な批判的思考力を伴う、英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者の育成を目的とした科目で、学生個々の興味・関心をもとに個人またはグループでリサーチに取り組み、その成果を発表する機会を含んだ実践・発信型の授業を行います。

#### Core English (LS)- Intermediate1・2, Core English (RW)- Intermediate1・2

#### Core English (LS)- Pre-Intermediate1・2, Core English (RW)- Pre-Intermediate1・2

将来を見越した英語学習の基盤づくり(キーコンピテンシー能力の構築)を目指し、英語学習の楽しさや達成感といった学びの質を優先させつつ、批判的思考力を伴うコミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目です。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

#### Basic English (LS)1・2, Basic English (RW)1・2

英語学習の楽しさや達成感を再確認しつつ、基礎的な英語コミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目であり、LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスした授業を行います。

#### General Academic English (LS)- Intermediate, General Academic English (RW)- Intermediate

#### General Academic English (LS)- Pre-Intermediate, General Academic English (RW)- Pre-Intermediate

分野(文系、理系)に横断して共通に求められる英語力と、専門領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした科目となります。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

### 上級科目

#### English for Professional Purposes 1・2

高度な批判的思考力を伴う、国内外を問わず英語を職業として使う領域で求められる英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者・職業人・企業家の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。登録資格(CASEC 629点以上)を満たしていれば履修可能です。

#### English for Academic Purposes 1・2・3

高度な批判的思考力を伴うアカデミックな領域で求められる英語コミュニケーション能力(アカデミック・プレゼンテーションやディスカッション)・文章読解力(論文)・文章記述力(論文)を兼ね備えた「自律し、成長し続ける学習者・研究者」の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。英語のコミュニケーション能力の向上はもちろんのこと、論文の記述力、読解力に重点を置いた科目となっています。以下の登録資格を満たし選考試験に合格すれば履修可能です。

科目名	配当年次	TOEFL ITP® テスト	TOEFLIBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト	TOEFL® Essentials™ テスト	TOEIC® L&Rテスト TOEIC® L&R IPテスト TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)	IELTS™	CASEC
English for Academic Purposes 1	2～	480～	55～	6.5～	575～	5～	629～
English for Academic Purposes 2	2～	520～	68～	7.5～	650～	5.5～	680～
English for Academic Purposes 3	3～	565～	82～	8.5～	730～	6～	740～

### 留学準備科目

#### Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2, Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

TOEFL® テストやIELTS™といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。登録資格(→6ページ参照)を満たしていれば履修可能です。

### 海外留学プログラム

#### サマープログラム、スプリングプログラム

夏期、春期休暇中に海外における短期集中の語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

#### セメスタープログラム

1セメスターにわたり、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めるとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

# 1年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語科目の登録方法について紹介します。なお、学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』、『登録要領』で必ず確認してください。

## 基幹科目

### Intensive Advanced English1・2

### Core English(LS)- Intermediate1・2

### Core English(LS)- Pre-Intermediate1・2

### Basic English(LS)1・2

### Core English(RW)- Intermediate1・2

### Core English(RW)- Pre-Intermediate1・2

### Basic English(RW)1・2

対象者: 全学部 1年次～

登録方法: 大学がプレイズメントテストの結果をもとに、一括登録する。(登録手続不要)

なお、入学前に実施したプレイズメントテストを受験できなかった場合は、以下の期間に、自宅等のパソコンでプレイズメントテストを受験する。受験方法(アクセスするURL、受験者ID等)は入学前と異なるため、入学後に案内される受験要領を必ず確認の上、受験すること。

受験期間: 4月1日(土)13:00～4月3日(月)10:30

自宅等にパソコンがない場合は、本学の情報教室のパソコンを利用して受験することも可能だが、学生証、ユーザID通知書が必要となる。本学で利用可能な情報教室は以下のURLから確認すること。

ただし、状況に応じて開室する教室が変更となるため、当日の情報教室の利用状況等は以下のURLから確認すること。

[https://it.doshisha.ac.jp/utility\\_time/utility\\_time.html](https://it.doshisha.ac.jp/utility_time/utility_time.html) ▶

<http://openpc.doshisha.ac.jp/clv/> ▶



※受験期間は休講期間となる。休講期間の情報を確認すること。

## 留学準備科目

### Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2

### Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

対象者: 全学部 1年次～

### 開講クラス(各クラス25名定員)

▶ 今出川校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	51	火1・木1	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	52	火2・木2	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	53	月4・水3	榎本 一美
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	54	火1・木1	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	55	水4・金4	榎殿 伴子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	56	月3・火2	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	57	水5・金5	榎殿 伴子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	58	水4・土1	榎本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	71	火1・木1	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	72	火2・木2	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	73	月3・火2	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	74	月4・水4	榎本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	75	水4・金4	榎殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	76	火2・金2	仁科 恭徳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	77	火3・木1	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	51	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	52	月6・土2	榎本 一美
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	53	火5・木2	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	71	月1・金5	GEORGIOS GEORGIU
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	72	火5・木2	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	73	水5・金5	榎殿 伴子

# 同志社英語集中プログラムについて

## 目的

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→52ページ参照)」を受講し、海外留学を実現できるよう、学問を深めていくために必要な英語力を習得することを目的としています。具体的には、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの獲得を目指します。「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをおすすめします。



## 正課科目

- English for Professional Purposes 1 1単位
- English for Professional Purposes 2 1単位
- English for Academic Purposes 1 2単位
- English for Academic Purposes 2 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 1 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS) 2 2単位

## 課外講座

- TOEFL ITP®テスト対策講座 ほか  
本プログラムでは、英語力とアカデミックスキルを向上させるために、効率的な学習方法をアドバイスし、集中的に英語を学習する機会を提供します。  
2023年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。



学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	51	金3・土2	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	52	月5・水5	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	71	月5・水5	櫃本 一美
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	51	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	52	金4・土3	北岡 一弘
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	71	月2・金4	GEORGIOS GEORGIU
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	72	金3・土3	北岡 一弘

## ▶ 京田辺校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	1	火2・土1	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2	火3・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	3	月3・金4	本間 三恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	4	火2・土1	小林 英雄
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	5	火3・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2	火2・金2	佐野 直子
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	1	火2・木5	CANDY
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN

## 登録資格

科目名	CASEC
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 1	550点以上679点以下
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 2	680点以上

## ▶ 登録を希望する場合は

4月3日(月)17:00までに登録を希望する開講校地のクラスについて、学修支援システムDUETで希望申請を行う。  
※登録資格を満たしていれば科目登録可能です。希望者が定員を超えた場合は抽選で登録者を決定します。  
抽選後、定員を満たしていないクラスは追加募集を行います。詳細は各学部『登録要項』で確認してください。

## 海外留学プログラム

### サマープログラムA・B・C

対象者: 全学部 1年次～

登録方法: 登録を希望する人は、募集説明会に参加してください。2023年度募集説明会は、今出川校地は2023年4月10・11日、京田辺校地は4月12日に実施します。日時・場所については以下のURLに公開している募集案内を確認してください。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/summer.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/summer.html) ▶



### スプリングプログラム 英語A・B・C・D

対象者: 全学部 1年次～

登録方法: 登録を希望する人は、2023年6月中旬に実施予定の2023年度募集説明会に参加してください。2023年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年5月中旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/spring.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/spring.html) ▶



### セメスタープログラム 英語I・II

対象者: 全学部2年次～(選考時は1年次生)

登録方法: 2023年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2023年12月上旬に実施予定の2024年度募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年11月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/semester.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/semester.html) ▶



Foreign Languages Other than English

# 初修外国語科目

- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- スペイン語
- ロシア語
- ロシア語
- ロシア語
- ロシア語

同志社大学では、全ての学生が英語に加えてもうひとつの外国語を学びます。この英語以外の外国語のことを大学入学後に初めて修める外国語ということで「初修外国語」と呼び、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ロシア語、ロシア語が提供されています。

「外国語」というと皆さんの多くは英語のことを真っ先に思い浮かべることでしょ。しかし、グローバル化が進むこれからの社会では、英語はもちろん、その他の言語の習得も求められるようになってい。ただし、言語は単なるスキルではありません。新しい外国語を学ぶことは、新しい価値観や文化に触れることにつながるからこそ、大学生が身につけるべき教養として位置づけられているのです。外国語学習は、私たちがこれまで知らず知らずのうちに身につけてきたものの見方が絶対的なものではないことを教えてくれるものでもあります。世界に対する複眼的な視点を獲得するためにも、在学中、英語以外の外国語の学習にも積極的に取り組んでみてくだ。

Australia, t dría un canguro en  
canguro en casa, pelearía contra



## 初修外国語科目学習プログラムの特徴

### POINT 01

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ロシア語を提供しており、英語以外の外国語の学習に取り組むカリキュラムになっています。

### POINT 02

レギュラー・コース、インテンシヴ・コースを準備しており、インテンシヴ・コースはレギュラー・コースに比べ、少人数でコミュニケーション能力に力点を置いた内容になっています。

### POINT 03

レギュラー・コース、インテンシヴ・コースに加えて、会話科目や海外留学プログラム、上級科目を提供しており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようにしています。

## 履修の流れ

標準的な 年次配当	1 年次		2 年次		3・4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
レギュラー・コース	入門Ⅰ (週2回連動・2単位)	入門Ⅱ (週2回連動・2単位)	応用1 (週1回・1単位)	応用3 (週1回・1単位)	言語文化原典演習1・2(各週1回・2単位)	
			応用2 (週1回・1単位)	応用4 (週1回・1単位)	文化事情1・2(各週1回・2単位)	
インテンシヴ・コース	インテンシヴⅠ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅡ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅢ (週3回連動・3単位)	インテンシヴⅣ (週3回連動・3単位)	表現法1・2(各週1回・2単位)	
					現代地域事情・上級講読1・2(各週1回・2単位)	
会話科目	会話初級1・2(各週1回・1単位)		会話中級1・2(各週1回・1単位)		会話上級1・2(各週1回・1単位)	
海外留学プログラム	サマープログラム		スプリングプログラム(ロシア語を除く)			
			セメスタープログラム(ドイツ語のみ)			
派遣留学	外国協定大学派遣留学					

※中国語会話初級は2年次以上、同中級は3年次以上、同上級は4年次から履修。

## 学習要項

### 1・2年次科目

#### ▶ レギュラー・コース

1年次で「入門Ⅰ・Ⅱ」(週2回)、2年次で「応用1・2・3・4」(週1回)を履修します。「入門」は基本的な発音や文法知識、語彙の習得を目的としています。「入門」はグレード制(ローマ数字の若い番号から順番に履修する必要がある)のため「入門Ⅰ」に合格しなければ「入門Ⅱ」へは進めません。「応用」は「入門」で身につけた外国語運用能力をさらに高め、文化理解への関心を広げることを目的としています。

#### ▶ インテンシヴ・コース

1年次で「インテンシヴⅠ・Ⅱ」(週3回)、2年次で「インテンシヴⅢ・Ⅳ」(週3回)を履修します。レギュラー・コースより少人数で、コミュニケーション能力に力点を置いた内容となります。週3回授業がありますので、初修外国語の学習に力を注ぎたいと考えている場合は、ぜひトライしてみてください。「インテンシヴ」はグレード制のため、「インテンシヴⅠ」に合格しなければ「インテンシヴⅡ」へは進めません。

※1年次で「レギュラー・コース」に登録していた学生でも、2年次に「インテンシヴ・コース」に移ることは可能です。また、逆に1年次に「インテンシヴ・コース」に登録し、2年次から「レギュラー・コース」に移ることも可能です。

### 海外留学プログラム

夏期・春期休暇中は、海外の大学で勉強する「サマープログラム」、「スプリングプログラム」に参加できます。「サマープログラム」は2年次以上、「スプリングプログラム」は1年次生から参加可能です。【詳細はP.19】さらに、2019年度から同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで「セメスタープログラム」(ドイツ語のみ)も開講され、1セメスターにわたって研修地に滞在し、現地での語学研修を受けます。また、「セメスタープログラム」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで開講する特色を生かし、全学共通教養教育科目である「Intercultural Studies」EUキャンパス特別講義」をセットで登録し、ドイツ・ヨーロッパでの学びを深化させる科目構成になっています。

※「サマープログラム・ロシア語」は隔年開講です。 ※「スプリングプログラム」は、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語で開講されています。 ※「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」、「Intercultural Studies」、「EUキャンパス特別講義」の総称を「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」としています。詳細は、35ページを確認してください。

### 3・4年次科目

4年間を通してスキルアップを図れるよう上級科目が用意されています。「留学の準備をしたい」「専門文献が読めるようになりたい」「留学から戻って来て外国語の力を維持、向上させたい」など、それぞれの関心や課題に照らして科目の履修を検討してみてください。

#### ▶ 「インテンシヴⅤ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ」

実践的なコミュニケーション能力を中心に総合的な外国語運用能力のブラッシュアップを図るとともに、文化的理解のさらなる向上を目指します。 ※インテンシヴの開講状況は各言語によって異なります。フランス語・中国語は「インテンシヴⅠ～Ⅷ」、ドイツ語・スペイン語・ロシア語は「インテンシヴⅠ～Ⅵ」、ロシア語は「インテンシヴⅠ～Ⅳ」を開講しています。

#### ▶ 「言語文化原典演習1・2」

外国語の読解力向上を目的とし、各言語の文献を読み、内容の理解を通じて背景にある文化的事象への認識を深められるようにします。

#### ▶ 「現代地域事情・上級講読1・2」

現代性・地域性に重点を置いた教材を用いて、現代社会における当該文化圏の特徴をさらに深く理解できるようにします。

#### ▶ 「文化事情1・2」

視聴覚教材などを用いて受信能力を向上させることを目的とし、各言語の視聴覚エンターテインメント、マスメディアなどに触れ、当該文化圏に関する多くの知識を習得できるようにします。

#### ▶ 「表現法1・2」

各言語の小論文やエッセイの執筆、ディベートなどを取り込み、書く・話すといった発信能力の向上を目的とし、様々な課題に取り組みながら自文化及び異文化に対する理解や認識を深められるようにします。

### 初修外国語会話科目

初級から上級までの「会話」クラスが用意されています。レギュラー・コース、インテンシヴ・コースの授業だけでは物足りない場合や会話能力をより向上させたい場合は、自分のレベルに合う授業を選んで履修してください。

p.10 から紹介する各外国語の先生からのメッセージも参考に、自分に合う外国語を選んで学習してください。

# ドイツ語 German



REGINE DIETH 助教

Sie kennen bestimmt schon einige deutsche Wörter. Im Japanischen gibt es viele deutsche Lehnwörter, wie z. B. Röntgen, Gelände, Arbeit, Gummi oder Baumkuchen. In der Meiji-Zeit wurden nämlich zahlreiche Begriffe aus Deutschland nach Japan eingeführt. Interessieren Sie sich dafür? Dann sollten wir zusammen Deutsch lernen!

こんにちは！  
皆さんはドイツ語の単語をいくつか知っていますか？  
実は日本語にはレントゲン、ゲレンデ、アルバイト、グミ、  
baumkuchenなどドイツ語からの借用語がかなりあります。  
なぜなら、日本は明治時代に多くの概念をドイツから導入したからです。  
興味を持ちましたか？それではドイツ語と一緒に学んでみませんか？

ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族の中のゲルマン語系の言語です。現在、ドイツ、スイス、オーストリア、ルクセンブルク、ベルギーの公用語で、EU域内ではフランス語と並んでよく使われています。ドイツ語は、ヨーロッパの歴史・文化・社会・経済・政治について知るうえで、きわめて重要な言語です。

本学ではレギュラー・コースの他にインテンシヴ・コース、会話・表現に特化した授業に加え、ドイツ語圏の地域事情について講読する授業が開講されています。春や夏にはドイツで行われる海外研修プログラム

も用意されています。2019年度からは同志社大学テュービンゲンEUキャンパスでのセメスタープログラムも開設されました。また12月初旬には「ドイツ語検定試験A1/A2」という世界で通用するゲーテ・ドイツ語検定試験も本学で実施しています。

サッカー、音楽、ビールに尽きない日独間の文化・学術交流には長い歴史があります。私たちの日常生活に浸透している「ドイツ」を発見する旅と一緒にしてみませんか？

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ドイツ語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ドイツ語を「読み、書き、聞き、話す」ための技能を、無理なく自然に身につけるための授業です。入門Ⅰ(第1セメスター)では、ドイツ語の文字と発音、ドイツ語の骨格をなす動詞の変化と名詞・代名詞・冠詞類等の変化、現在時称などを学びながら、少しずつドイツ語で表現することを学習します。

#### ドイツ語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱ(第2セメスター)では、入門Ⅰに続き、さらに多様な文法事項を学びつつ、もう少し立ち上がった表現や場面に対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく検定試験「ドイツ語検定試験A1」に合格するレベルに達することを目標とします。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ドイツ語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員による週3回の授業です。文法事項の進度は入門Ⅰ、Ⅱに準じていますが、週3回のクラスなので、口頭練習や聞き取り練習により大きな重点を置くことで、入門Ⅰ、Ⅱと差異化されます。ドイツ語の学習意欲がはっきりしている学生向けのクラスです。

#### ドイツ語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠと同様に、日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員とによる週3回の授業です。過去形や現在完了形を使った過去の出来事、命令形や依頼の表現等、様々な文法事項を学びながら、いっそう立ち上がった表現や場面にも対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく「ドイツ語検定試験A1」に良い成績で合格するレベルに到達することを目標とします。

# フランス語 French



中嶋 洋平 助教

Regardons la carte du monde. Le Japon est un « archipel ». Quelle est la forme de la France métropolitaine ? En français, elle est appelée « l'Hexagone ». Également, considérons le fait qu'il existe des pays francophones dans le monde entier.

こんにちは！  
世界地図を見ましょう。日本は「列島」です。  
フランスはどんな形ですか？フランス語でフランスは「六角形(Hexagone)」と呼ばれます。  
同じように、フランス語圏が世界中に存在するという事実についても考えてみましょう。

言語を学ぶのは、コミュニケーション・ツールを身につけるためだけでなく、自分たちとは異なる価値観や異なる人間の生き方を理解するためでもあります。これらは21世紀のグローバル化された世界で生きるために必要です。

フランスは歴史的に多くの優れた文学者や思想家・哲学者、科学者を生み出しました。フランス語を学ぶことは、皆さんに自分たちとは異なるものに触れ、様々なことを考えるきっかけをもたらしてくれるでしょう。

入門Ⅰ・ⅡやインテンシヴⅠ・Ⅱで初歩を学び、応用1~4やインテンシ

ヴⅢ・Ⅳに進みましょう。コミュニケーション能力を磨くには会話クラス、さらに高度なフランス語を学ぶには上級講読やインテンシヴⅤ・Ⅵ、インテンシヴⅦ・Ⅷ、表現法、言語文化原典演習などがあります。最終的な到達レベルは、「フランス語学力資格試験」(DELF)のB1~B2です。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### フランス語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

フランス語の表現の仕組みと発音の基本を理解し、名詞・形容詞の性・数や基本的なタイプの動詞の現在形を正しく用いて簡単なフランス語の文を組み立てたり、話したりできるようになることを目指します。到達目標は仏検5級程度です。

#### フランス語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

動詞の過去時制、いろいろな代名詞(直接・間接目的語代名詞、中性代名詞、関係代名詞、疑問代名詞など)、様々な構文を学習し、より複雑な文を理解できるようになることを目指します。到達目標は仏検4級程度です。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### フランス語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

挨拶、人物紹介、買い物、道案内等の表現ができるようになることを目標に、系統的な語彙習得と文法(名詞・形容詞の性・数、重要な動詞の習得など、おおむね入門Ⅰの文法と同じ)の授業が組まれています。コミュニケーション能力を身につけることに重点を置きます。到達目標は仏検5級程度です。

#### フランス語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日常生活や仕事について表現できることを目標に、系統的な語彙習得と文法(「入門Ⅱ」の「文法」の範囲に対応する内容)の授業が組まれています。担当教員同士で連絡を取り合い、聞き取る、話す、読む、書く、総合的な力がつくような授業を行います。到達目標は仏検4級程度です。

# 中国語 Chinese

## 大家好!

汉语作为世界上使用人数最多的语言,也是联合国六种工作语言之一。近年来,随着中国经济的发展,世界各地都开始了学习汉语的“汉语热”。大家刚开始学习汉语的时候,会觉得汉语的发音很难,但是不用担心,只要努力练习就一定能够掌握。初级阶段的汉语语法,有很多和英语语法相似的地方,也有和日语相似的地方,还是不难学习的。学好汉语,了解不同的文化,开阔视野,结交更多的朋友。让我们一起加油吧!

皆さんこんにちは!

中国語は世界で最も話し手の多い言語であり、国連の6種の公用語の一つでもあります。近年は中国の経済的發展に伴い、世界各地で中国語の学習の「中国語熱」が高まっています。中国語を学び始めると、発音が難しいと思うのですが、心配はいりません。頑張って練習すれば必ずマスターできます。初級レベルの中国語の文法も、英語や日本語の文法と似ているところがたくさんあり、学習は難しくありません。中国語を学べば、異なる文化を理解し、視野を広げ、多くの友人をつくることのできるため、一緒に頑張って学んでいきましょう!

阿部 範之 教授

中国語(漢語=漢民族の言語)は世界で最も話し手の多い言語の一つと言われ、国連の公用語の一つでもあります。

中国語の発音は日本語とも英語とも全く異なるという特徴があり、入門IやインテシヴIクラスで学ぶ初習者は、まず中国語発音のローマ字表記法・「拼音(ピンイン)」から学習を始めます。カタカナ発音では通用しないので覚悟してください。しかし書き言葉で漢字を用いるという特徴は、日本語話者にとっては有利な面です。ただ、中国では伝統的

な漢字の字体を簡略化した「簡体字」が用いられており、私たちが使っている漢字とは形が違うものもあるので、注意しましょう。

学習経験がなくても、「我是学生。」(私は学生です。)と文章の意味が理解できるのは、世界でも日本語話者くらいでしょう。「加油!」(頑張れ!)

# スペイン語 Spanish

## ¡Hola!

Bienvenidos al mundo hispano. El español es la lengua de España y muchos países de Latinoamérica. ¿Conoces el Machu Picchu y la Sagrada Familia? ¿Los tacos y la paella? ¿La salsa y el flamenco? El español es la puerta de entrada a una cultura única. ¿Por qué no aprendes español? ¡Nos vemos en la clase!

こんにちは!

スペイン語の世界へようこそ。スペイン語は、スペインやラテンアメリカの多くの国々の言語です。マチュ・ピチュやサグラダ・ファミリアを知っていますか? タコスやパエリアは? そして、サルサやフラメンコはどうでしょうか? スペイン語は、ユニークな文化への扉です。そんなスペイン語を学んでみてはどうでしょうか? では、授業でお会いしましょう!

PEREZ RIOBO ANDRES 助教

スペイン語は、スペインと中南米地域を中心として、現在20を超える国家と地域の公用語として4億人以上の人びとに用いられており、英語に匹敵する汎用性を備えていると言っても過言ではありません。今後、スペイン語の話者数や需要はますます伸びていくと予想されています。

スペイン語は、日本人にとって発音面では相性がよく、すぐに馴染むことができます。入門IやインテシヴIではabcから学習が始めますが、努力次第でスペイン語がどんどん聞き取れるようになるはずですよ。

その反面、英語と比べると、文法が複雑で覚えるのが大変だと感じられるかもしれません。しかし、それはスペイン語が持つ魅力の一つでもあります。

スペイン語を学習すれば、スペインだけでなく、中南米や米国のヒスパニック・コミュニティへと世界が広がります。新しい扉を開き、自分の世界を広げる第一歩として、ぜひスペイン語にチャレンジしてみてください。

### Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

#### ▶ レギュラー・コース

##### 中国語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけることを目標とします。

##### 中国語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学んだ内容を定着させながら、中国語の発音をより確実なものにすると同時に、基礎的表現と文法の習得を目標とします。

#### ▶ インテシヴ・コース

##### 中国語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけ、中国語コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標とします。

##### 中国語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIや入門Iで中国語の発音や基礎的表現と文法を学んだ学生が、さらに語彙や文法を習得し、その後の学習の基礎となる力を身につけることを目標とします。

### Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

#### ▶ レギュラー・コース

##### スペイン語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)を身につけ、平易なスペイン語を理解し、挨拶、自己紹介などの簡単な表現ができるようになることを目標とします。

##### スペイン語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現を理解し、また自らも表現できるようになることを目標とします。

#### ▶ インテシヴ・コース

##### スペイン語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)の習得を目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

##### スペイン語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現が理解できるようになることを目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。



# ロシア語 Russian



立石 洋子 准教授

По-русски это значит «будьте здоровы», эти слова русские говорят друг другу, как в Японии говорят «こんにちは». Вы можете в разных уголках мира услышать «Здравствуйте», ведь на русском языке говорят почти 300 миллионов человек. На русском языке написаны великие книги Достоевского и Толстого, по-русски говорили создавшие гениальную музыку Чайковский и Рахманинов. Фигуристки Загитова и Медведева с радостью поговорят с вами по-русски, для них это тоже родной язык. Давайте говорить по-русски!

こんにちは(「ズドラーストヴィチェ」)! 「ズドラーストヴィチェ」はロシア語では「元気でください」という意味です。この言葉は日本語の「こんにちは」のようにロシア人は互いに言い合います。約3億人の人がロシア語を話しているので、世界中で「ズドラーストヴィチェ」を聞くことができます。ロシア語ではドストエフスキーもトルストイも偉大な本を書きましたし、天才的な音楽を作り出したチャイコフスキーやラフマニノフもロシア語で話していました。フィギュアスケート選手のザギトワやメドヴェージェワも喜んであなたたちとロシア語で話してくれるでしょう。彼らにとってロシア語は母語だからです。ロシア語で話しましょう!

ロシア語は簡単だという語弊があるかもしれませんが、教科書と辞書と会話集をうまく使えばある程度のレベルのロシア語に達することができます。これまで理解できなかったアーニヤやターニヤの言っていたことがわかるようになるかもしれません。独習書を一人で読んでいても上達しない人もいますので、授業で他人の中に入って勉強することを勧めます。言葉の難しさは母語を基準として測る場合もありますが、結局ロシア語はギリシア語やラテン語よりも格変化が少ないから簡単だとは言えませんし、向き不向きとモチベーションの持ちようで語学の

達は決まるのかもしれませんが。ロシア語検定試験やロシア語通訳ガイド試験の受験などもロシア語の実力を客観的に示すよい機会でしょう。ロシア語を学んだ学生の中には、在学中にロシア語検定3級や2級に合格する学生もいます。語学学習を、履歴書に残る目に見える結果として残しておくことも有益です。ぜひロシア語の魅力を学習しながら感じ取ってください。

# ロシア語 Korean



若生 正和 准教授

한국어를 배워 보지 않으실래요? 주로 한반도(대한민국과 조선민주주의인민공화국)에서 말해지고 있는 언어를 도시사 대학에서는 코리아어라고 부르고 있습니다. 코리아어를 할 수 있게 되면, 사는 게 훨씬 더 즐거워집니다!

こんにちは!  
ロシア語を学んでみませんか?  
主に朝鮮半島(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)で話されている言語を、同志社大学の初修外国語科目としては「ロシア語」と呼んでいます。ロシア語ができると、人生がもっともっと楽しくなりますよ!

ロシア語は日本語母語話者にとって、とても学びやすい言語だと言われます。その理由の一つは文法が非常に似ているからです。例えば日本語とほぼ同じ語順や、助詞の使用には親しみやすさを感じるでしょう。もちろん難しさもあります。全く新しい文字を覚えなければならず、日本語でも英語でも使わない発音もあるため、学習者の努力が求められるのも事実です。それでも「入門Ⅰ・Ⅱ」まで終えれば、とりあえず辞書を片手にロシア語のコラムや論文を読めるようになります。

また、習ったことを旅行先などで思い切って口に出してみれば、ロシア語でコミュニケーションできる自分に気づくはずですよ。さらに韓流好きの人なら、ドラマやK-POPの理解できる言葉がどんどん増えていくでしょう。私たちロシア語担当教員は、このように魅力あふれるロシア語に意欲的に挑戦する皆さんを待っています。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語で使われているキリル文字の習得、発音に始まり、動詞の3つの時制、名詞・代名詞の6つの格変化、形容詞・持ち主を表すことばの性・数変化等、ロシア語文法の基礎をひと通り学び終えます。半年の学習によって、ロシア語の文章の組み立てを理解し、簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

#### ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱでは入門Ⅰとは別の教科書を用い、軟変化や不規則な変化、動詞の命令形、数詞と名詞の結合、形容詞の短語尾・比較級・最上級等、入門Ⅰでは学ばなかった文法事項を学習するとともに、ロシア語を使って話す能力、ロシア語を聞きとる能力、ロシア語を読む能力の育成を目指します。ロシア語で簡単な会話ができるようになるだけでなく、単語帳を与えられれば簡単なロシア語の文章が読めるようになることを目標とします。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

ロシア語を集中的に勉強して身につけたいと希望する学生のための特別クラスです。日本人の教員は文字と発音の勉強から文法の基礎まで、教科書に沿って説明をし、ネイティブの教員はその進度に合わせて、発音練習を行ったり、話したり、聞いたりする訓練を行います。ロシア語の文章の組み立てが理解できるとともに、ロシア語で簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

#### ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日本人の教員は、動詞の時制と体、関係代名詞、数詞の表現、比較級、最上級等ロシア語の文献を読むのに必要な文法事項をひと通り教え、ネイティブの教員はロシア語でのコミュニケーション能力の育成を図ります。ロシア語で簡単な会話ができるようになることと、辞書を引けば簡単なロシア語のテキストが読めるようになることを目標とします。

## Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

### ▶ レギュラー・コース

#### ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語の文字(ハングル)と発音の学習から始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。学習終了後に簡単な日記が書けることを目標とします。

#### ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰに引き続き、尊敬、連体形(現在/過去/未来)、否定形といった表現や変則活用などの初級レベルの文法事項を体系的に学習し、辞書を使って、簡単な文を作ったり訳したりできることを目標とします。また、文章語の基本となる한디체(日本語の「である」体または「だ」体に相当)を学習し、初級レベルを完成させます。

### ▶ インテンシヴ・コース

#### ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠ・Ⅱを通して初級レベルの文法事項・会話・作文を完成させます。文字と発音の練習から学習を始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。また、慣用的な言いまわしを用いた挨拶や自己紹介などができ、自分の知っている単語を用いて簡単な文章が書けることを目標とします。

#### ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

基本的な助詞をはじめ、聞き手に対する丁寧さを含まない表現、連体形の現在・過去・未来、尊敬表現、変則用言等や、可能・不可能・義務・可否等の基本的な慣用句を学び、初級レベルの文法事項を完成させます。また状況・場面に応じた適切な挨拶や紹介・対応、平易な句や文章の正しい音読、辞書を引ながらの内容理解、自分の知っている単語を用いた簡単な作文ができることを目標とします。

# 1年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な科目の登録方法について説明します。  
1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の初修外国語科目は、以下のとおりです。

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語各外国語の

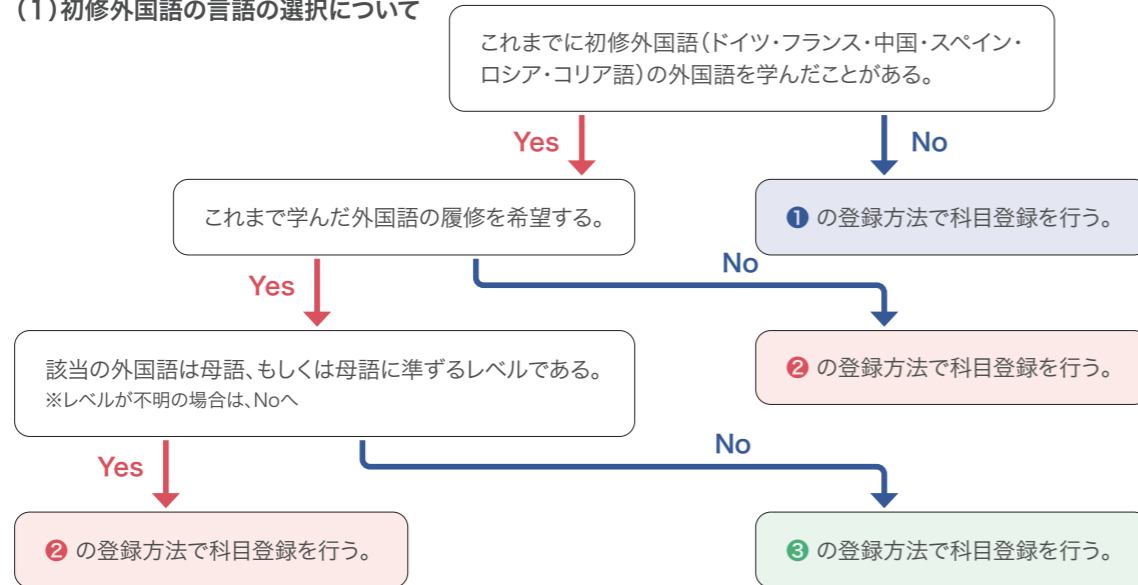
- 入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ
- 会話1・2(中国語を除く)
- サマープログラム
- スプリングプログラム(ロシア語を除く)
- セメスタープログラム(ドイツ語のみ)

※サマープログラム、セメスタープログラム(ドイツ語のみ)は、1年次に選考を受けることで、2年次に履修することができます。

学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』『登録要領』で必ず確認してください。

まず、初修外国語の言語の選択、及び登録方法について説明します。本学で提供している初修外国語をこれまで学んだことがある場合がありますので、初修外国語の言語の選択は、(1)のフローに従って行き、指定された登録方法で手続きを行ってください。登録方法については(2)を確認してください。ただし、外国人留学生で日本語の登録を希望する場合は、所属学部の履修要項・登録要領、または「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」で科目の取扱い、及び登録方法を確認の上、手続きを行ってください。

## (1) 初修外国語の言語の選択について



## (2) 初修外国語の登録方法について

(1)のフローで指定された登録方法は以下の①～③となります。確認の上、手続きを行ってください。

- ①: 学修支援システムDUETで初修外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ②: 学修支援システムDUETでこれまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱの登録申請を行う。
- ③: 初修外国語科目登録認定で該当外国語の教員の面談を受ける。面談は主たる通学校地の初修外国語科目登録認定で受けること。日時、場所は以下の通り。

4月2日(日) 15:00～16:00 京田辺校地: 恵道館104・106教室 今出川校地: 良心館205教室  
4月5日(水) 10:00～11:00、12:30～13:30 京田辺校地: 知真館1号館132教室 今出川校地: 良心館104教室

面談の結果により、これまで学んだ外国語をレベルに合わせて登録するが、母語、もしくは母語に準ずるレベルの場合は、これまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱ、またはインテンシヴⅠ・Ⅱを登録する。

①、②の場合は次頁にある学修支援システムDUETでの登録方法を確認して、手続きを行ってください。

## 入門Ⅰ・Ⅱ、インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話1・2

登録方法: 4月3日(月)17時までに学修支援システムDUETで各自登録する。

### ▶ 学修支援システムDUETでの登録方法

『在学生の方』にマウスポインタ(マウスカーソル)を合わせる。

『科目登録日程』をクリックする。

『ログイン方法』のサムネイルをクリックする。

『先行登録』をクリックする。

『入門Ⅰ・Ⅱ』を希望する場合  
(複数の科目をまとめて抽選するもの)にある「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の「+申請」ボタンをクリックしてください。

『インテンシヴⅠ・Ⅱ』、「会話1、2」を希望する場合  
各学部の履修要項で全学共通教養教育科目の外国語教育科目が、どのカテゴリ(1類、2類など)に存在するのか確認し、該当するカテゴリの「+申請」ボタンをクリックしてください。なお、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」、「会話1、2」は、外国語ごとに分かれていますので、複数言語(ドイツ語とフランス語など)申請すると複数当選する可能性があります。申請する際には注意してください。

インテンシヴⅠ・Ⅱ、会話1、2は履修要項で全学共通教養教育科目外国語教育科目のカテゴリ(1類、2類など)を確認し、該当するカテゴリの「+申請」ボタンをクリックする。

## 1 DUETへログインする

以下の手順でマニュアル(動画)を確認してDUETへログインしてください。

- ① 大学HPを開いてください。
- ② ページの『在学生の方』にマウスポインタ(マウスカーソル)を合わせてください。
- ③ 『科目登録日程』をクリックしてください。
- ④ 科目登録日程の画面が表示されますので、下にスクロールして「学修支援システムDUET マニュアル(動画)」へ移動してください。『ログイン方法』のサムネイルをクリックすると、ログイン方法のマニュアル(動画)が表示されますので、そちらを確認してDUETへログインしてください。

## 2 履修手续をする

### 1 先行登録科目の画面へ

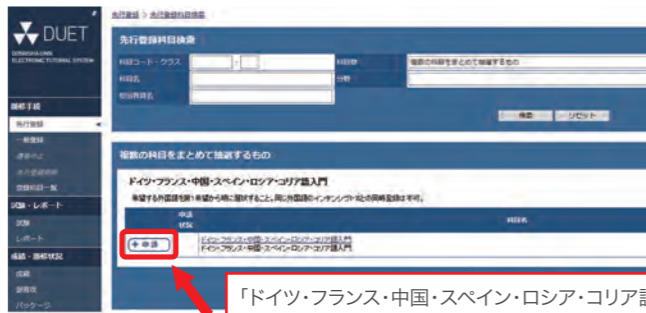
ログインが完了したら、ご自身のページが開きます。左上の『先行登録』というボタンをクリックしてください。

### 【「入門Ⅰ・Ⅱ」を希望する場合】

(複数の科目をまとめて抽選するもの)にある「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の「+申請」ボタンをクリックしてください。

### 【「インテンシヴⅠ・Ⅱ」、「会話1、2」を希望する場合】

各学部の履修要項で全学共通教養教育科目の外国語教育科目が、どのカテゴリ(1類、2類など)に存在するのか確認し、該当するカテゴリの「+申請」ボタンをクリックしてください。なお、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」、「会話1、2」は、外国語ごとに分かれていますので、複数言語(ドイツ語とフランス語など)申請すると複数当選する可能性があります。申請する際には注意してください。

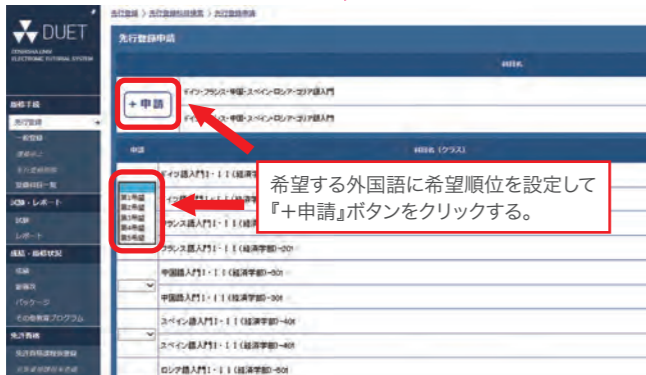


「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックする。

## 2 履修手続をする(つづき)

### 【「入門I・II」登録画面へ】

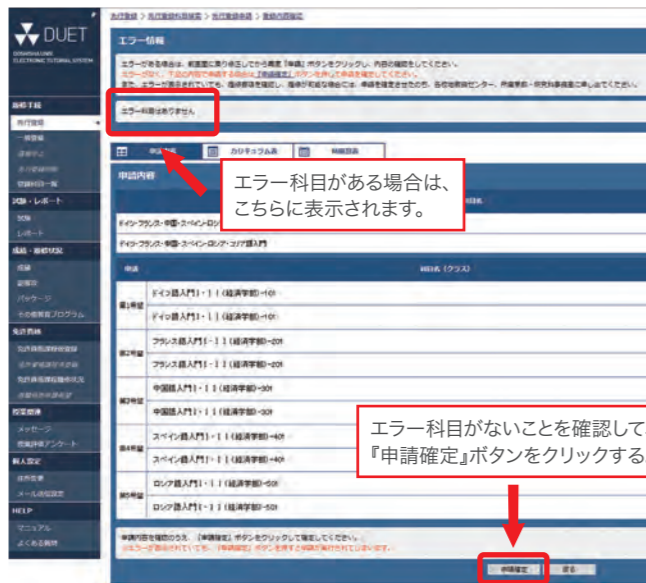
「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。



希望する外国語に希望順位を設定して『+申請』ボタンをクリックする。

### 【「入門I・II」登録希望申請へ】

- 登録希望順位を設定してください。  
例えば、ドイツ語が第1希望、中国語が第2希望、コリア語が第3希望であれば、「ドイツ語入門I・II」の申請欄の下矢印ボタンを押して、「第1希望」を選択してください。同様の手順で、中国語は「第2希望」、コリア語は「第3希望」と設定してください。(申請は必ず第5希望まで申請してください。)
- 登録希望順位の設定を終えたら、画面の左上にある『+申請』ボタンをクリックしてください。



エラー科目がある場合は、こちらに表示されます。

エラー科目がないことを確認して、『申請確定』ボタンをクリックする。

### 重要!

・先登登録希望申請を完了した際には、DUETの「先登登録」の画面を再度開き、自分が行った希望申請が正しく反映されているか、必ず確認してください。  
また、希望申請後、申請内容が大学より交付されたメールアドレス宛 (Office365) にE-mailで送付されますので、こちらも必ず確認してください。ただし、E-mailは希望申請後すぐには届かないことがありますのでご注意ください。

・Office365は大学HPの「在校生の方」にマウスポインタ (マウスカーソル) を合わせて『Office365』のボタンをクリックしてログインしてください。また、大学より交付されたメールアドレスは、「ユーザID通知書」で確認できます。



4月4日(火)の結果発表時に『先登登録』をクリックして、決定した外国語とクラス番号を確認。

## 3 決定した外国語科目・クラスを確認する

- 『先登登録』をクリックしてください。
- これまでの申請科目とその抽選結果が確認できます。申請した科目の結果発表は、4月4日(火)0時になります。

## サマープログラム ドイツ語B、フランス語、中国語B、スペイン語、ロシア語、コリア語

対象者: 全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要: 夏期休暇中に現地での集中的語学研修(3週間～4週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2023年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2023年12月上旬に実施予定の2024年度募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年11月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/summer.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/summer.html)



## スプリングプログラム ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語B、コリア語

対象者: 全学部1年次～

授業概要: 春期休暇中に現地での集中的語学研修(2週間～5週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 登録を希望する人は、2023年6月中旬に実施予定の2023年度募集説明会に参加してください。2023年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年5月中旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/spring.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/spring.html)



## セメスタープログラム ドイツ語I・II

対象者: 全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要: 春学期の1セメスター(約4ヶ月間)、本学の海外キャンパスである同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで集中的に語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2023年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2023年10月上旬に実施予定の2024年度募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年9月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/eucampusprogram/eucampusprogram\\_depg.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html)



※「セメスタープログラム ドイツ語I・II」は同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となる。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、35ページを確認してください。

# 3

Short-term Study-Abroad Programs

## 海外留学プログラム

サマープログラム、スプリングプログラム、 Semester プログラムは、本学の外国語教育の中に有機的に位置づけられているものです。自分の学んでいる言語を実生活の中で使い、その背景にある文化や社会に直接触れることはかけがえのない体験です。たとえ短期間のプログラムであっても、その体験がこれからの語学力向上や国際人としての成長のきっかけとなる可能性はとて大きいものです。異文化での体験の種が、やがて大きく花開くように、本学では様々なレベルとアプローチからなる外国語教育科目が提供されています。海外留学プログラムに参加する前にも後にも、貴重な体験をより有意義なものにする科目がたくさんありますのでチェックしてみましょう。また、これらのプログラムが実施される現地の大学のほとんどは、協定校になりますので、現地での生活を実際に体験した後に、次は長期派遣留学に挑戦するのも良いでしょう。本学では学生の海外留学を支援するために、奨学金も準備しています。入学後、ぜひ早い段階から語学カウンセリング(→49ページ参照)などを活用し、海外留学プログラムや外国語の学習について各語部の教員に気軽に相談してみてください。より明確で具体的な目標を立てて外国語学習を進めていくことで、大学生活がきわめて充実したものになるだけでなく、将来の豊かなキャリア形成にも確実に繋がっていきます。ぜひ、チャレンジしてみてください！



### 海外留学プログラムの特徴

#### POINT 01

正課科目として、短期(2~5週間)、中期(4ヶ月)のプログラムを提供しており、留学に関する奨学金もあります。また、短期プログラムであるサマープログラム、スプリングプログラムは1年次から受講可能です(初修外国語のサマープログラムは2年次生から受講可能)。

#### POINT 02

語学研修だけではなく、異文化体験もプログラムに含まれており、語学力向上と同時に国際人としての成長のきっかけとなります。

#### POINT 03

短期、中期プログラムの次のステップとして、大学間協定、学部間協定による派遣留学で専門分野の勉強を行うことが可能となっており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

## 海外留学プログラム一覧

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020・2021年度は全プログラムにおいて渡航することができませんでした(2021年度は一部のプログラムでコロナ禍における特別措置としてオンラインで実施しました)。2022年度は一部のプログラムから渡航を再開することができましたが、2023年度も新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますので、各プログラムの詳細は下記国際課のホームページで公開される募集要項を確認してください。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/overview.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/overview.html)



### ▶ 2022年度 スプリングプログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ホーソン・メルボルン英語学校	(オーストラリア)	(2022年度開講なし)
		ヨーク大学	(イギリス)	2023年 2月18日~3月22日 約24名(最少催行人員:10名)
		セブ医科大学(※)	(フィリピン)	2023年 2月20日~3月17日 約30名(最少催行人員:5名)
英語B	3	セント・メアリーズ大学	(カナダ)	(2022年度開講なし)
		オークランド大学	(ニュージーランド)	(2022年度開講なし)
英語C	2	カリフォルニア大学アーバイン校	(アメリカ)	2023年 2月20日~3月14日 約25名(最少催行人員:13名)
		オタゴ大学(※)	(ニュージーランド)	2023年 2月20日~3月17日 約25名(最少催行人員:6名)
英語D	1			(2022年度開講なし)
ドイツ語	3	フライブルク大学	(ドイツ)	2023年 3月1日~3月22日 約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	3	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修)	(フランス)	2023年 2月17日~3月20日 約20名(最少催行人員:5名)
中国語	1	華東師範大学	(中国)	(2022年度開講なし)
スペイン語B	3	サラマンカ大学	(スペイン)	2023年 2月19日~3月17日 約20名(最少催行人員:10名)
コリア語	3	慶熙大学	(韓国)	(2022年度開講なし)

※こちらのプログラムはオンラインによりセブ医科大学は英語A(4単位)、オタゴ大学は英語B(3単位)で実施しました。

### ▶ 2019年度 サマープログラム(英語)

注:2020~2022年度のプログラムが渡航中止となったため2019年度のプログラムを掲載しています。2023年度のプログラムは上記国際課ホームページで公開される募集要項を確認してください。

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ヨーク大学	(イギリス)	2019年 8月10日~9月8日 約24名(最少催行人員:12名)
		ディーキン大学	(オーストラリア)	2019年 8月10日~9月15日 約20名(最少催行人員:10名)
		アリゾナ大学	(アメリカ)	2019年 8月16日~9月15日 約20名(最少催行人員:12名)
		ゲルフ大学	(カナダ)	2019年 8月10日~9月8日 約40名(最少催行人員:20名)
		セブ医科大学	(フィリピン)	2019年 8月11日~9月1日 約30名(最少催行人員:15名)
		トンブソン・リバーズ大学	(カナダ)	2019年 8月16日~9月15日 約30名(最少催行人員:11名)
英語B	3	スタンフォード大学	(アメリカ)	2019年 8月4日~9月1日 約10名(最少催行人員:1名)
		カリフォルニア大学デービス校	(アメリカ)	2019年 8月10日~9月8日 約25名(最少催行人員:10名)
		ヨーク・カレッジ大学	(アイルランド)	2019年 8月10日~9月8日 約15名(最少催行人員:1名)
		ロンドン芸術大学	(イギリス)	2019年 8月10日~9月1日 約28名(最少催行人員:10名)
英語C	2	ケンブリッジ大学	(イギリス)	2019年 8月10日~9月1日 約40名(最少催行人員:32名)
		カリフォルニア大学サンディエゴ校	(アメリカ)	2019年 8月17日~9月8日 約30名(最少催行人員:15名)

### ▶ 2023年度 サマープログラム(初修外国語)

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
ドイツ語A	4			(2023年度開講なし)
ドイツ語B	3	マルティン・ルター大学	(ドイツ)	2023年 8月11日~9月2日 約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	4	フランシュ・コンテ大学	(フランス)	2023年 8月11日~9月12日 約20名(最少催行人員:4名)
中国語B(※)	3	北京大学	(中国)	2023年 7月31日~8月25日 約20名(最少催行人員:6名)
スペイン語	4	ラス・アメリカス大学	(メキシコ)	(2023年度開講なし)
ロシア語	4	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学	(ロシア)	(2023年度開講なし)
コリア語	3	延世大学	(韓国)	2023年 8月28日~9月19日 約20名(最少催行人員:7名)

※2023年度の中国語のサマープログラムはオンラインで実施します。

### ▶ 2023年度 セメスタープログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語I・II	I・II各4	ウィニベグ大学	(カナダ)	2023年 9月2日~12月19日 約30名(最少催行人員:10名)
		ディーキン大学	(オーストラリア)	2023年 8月12日~12月11日 約30名(最少催行人員:10名)
		ハワイ大学	(アメリカ)	2023年 8月19日~12月19日 約30名(最少催行人員:7名)
ドイツ語I・II(※)		チュービンゲン大学	(ドイツ)	2023年 2月28日~8月5日 約15名(最少催行人員:10名)

※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」は、同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、35ページを確認してください。

# 英語 スプリングプログラム

English

## スプリングプログラム 英語 A セブ医科大学 [フィリピン]

プログラム期間  
2020年2月16日(日)～3月8日(日)

Report of the instructor

このプログラムは、フィリピンのセブ島にあるセブ医科大学付属の語学学校にて、3週間の英語研修を行うものです。

英語を学ぶための留学先としては、アメリカ、イギリス、オーストラリア等の英語圏の国々がメジャーですが、本プログラムはアジアの発展途上国であるフィリピンで学ぶ点において非常にユニークです。

フィリピンにはタガログ語をはじめとする現地言葉が多くありますが、アメリカによる植民地支配により、英語が公用語・第二言語・教育言語として非常に重要な役割を果たすようになりました。

本プログラムのフィリピン人教員は狭義の意味



での「英語ネイティブ」ではありません。しかしその分、母語以外の言語を習得した実体験があり、そうした人々から英語を学ぶメリットは大きいもの

があります。

それ以外にも、毎日約5時間のマンツーマン・レッスンと、2～3時間の少人数グループレッスンで構成される密度の濃いカリキュラムが、短期間で英語力を向上させてくれます。マンツーマン・レッスンが多いので、他の参加者との力の差を気にせずに授業に集中できます。

短期間でとにかく英語をたくさん話し、コミュニケーション能力を高めた学生にとっては最適なプログラムといえます。また、学寮生活や課外アクティビティ等を通じて、非英語圏の国であるフィリピンの社会や文化を肌で体験できるのも他の英語プログラムにない魅力です。

### 体験記

## "セブ留学を通して"

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

初めは、先生が言っている英語を全く聞き取ることができず、環境や人も初めてで不慣れなことばかりだったので、大変でした。授業も朝から晩まであったので、精神的にも体力的にもしんどい時はあったけれど、同じ状況で頑張っている、同志社生や、どんな時でも優しく、明るく迎え入れてくれる現地の先生の支えもあって乗り越えることができました。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

留学前は、自分の英語に自信がなかったので、失敗を恐れて挑戦すらしてきませんでした。でも、マンツーマンの授業やグループの授業で、積極的に自分の英語を使うことを通して、英語で考え方を伝えたり、共有したりする楽しさを知ることができ、失敗を恐れず何度もチャレンジしようという精神を持つことができました。

### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

現地の文化や考え方、孤児院訪問などを通して、今まで自分の知らなかった世界をたくさん学ぶことができたので、もっと視野を広げて世界の問題に興味を持ち、考えていこうと思います。また、英語を使って、異国の人とコミュニケーションをとる楽しさや興味深さを知ることができたので、英語はもちろんのこと他言語を学ぶモチベーションにしていきたいです。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

このプログラムの最大の魅力は、マンツーマンの授業が多くあることだと思います。英語を話す機会も聞く機会もたくさんあり、自分のペースでできるので、一つ一つの授業への充実感がとてもあります。また、寮生活やグループ授業を通して、新しい友達もたくさんでき、休日にみんなで出かけたことも良い思い出です!このプログラムは、勉強の面でも遊びの面でも、とても充実した留学になると思います!!



## スプリングプログラム 英語 B セント・メアリーズ大学 [カナダ]

プログラム期間  
2020年2月22日(土)～3月15日(日)

Report of the instructor

このプログラムは、カナダの西部に位置するノバスコシア州ハリファックス市にあるセント・メアリーズ大学にて、3週間にわたり研修を行うものです。ビジネス・イングリッシュとカナダ文化を学ぶ内容となっており、参加学生の卒業後に役立つような実践的な英語力と知識を培うことができます。授業は月曜から金曜の9時から16時まで、同志社の学生のために作られた特別なカリキュラムの下で行われます。午前中は、プレゼンテーション、ビジネス文書、ビジネスコミュニケーション等のビジネス英語運用能力の向上を図る授業を受け、午後にはサービス・ラーニングのワークショップや実習、企業訪問やメーブル



シロップ農場訪問、また史跡、博物館、市中のショッピング・センター訪問、市長訪問、アイススケート等、多岐にわたる学びと経験の機会が用意されています。さらにアイスホッケー観戦、週末のオプション・ツアー等もあり、中身の濃い3週間となるでしょう。

研修中はホームステイで、ホストファミリーとの日常的な交流の中で、自分のコミュニケーション力の伸びも実感できると思います。参加者は、この機会を生かして大変充実した学びを得ました。このプログラムを通して貴重な体験が得られることを願ってやみません。

### 体験記

## "3週間の研修を終えて"

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ホストマザーとの雑談が弾まなかったことです。初めは失敗することや変な雰囲気になることを心配していましたが、数日経ってそんなことは気にせずにマザーとの会話を楽しみたい一心で、自分からたくさん話しかけてみることにしました。すると、意外と自分の英語でも通じることや、マザーが私が言葉にするのを待ってくれることを知り、その後は毎日会話を楽しむことができました。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

初めての海外で、今までとはまるで違う生活・環境に身を置くことで、客観的に日本や自分について考えることができるようになりました。自分が今まで当たり前だと思っていたことが、この国では当たり前じゃないなんてことは山ほどあり、自分の中の固定概念が崩されていきました。3週間でたくさんの新鮮な経験を経て、少し物事を俯瞰する力がついたのではないかと思います。



### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

何かに取り組むとき、固定概念に囚われないように気をつけたいです。今回の留学で、国や人それぞれに、いろいろな考え方・文化・生活があることを学びました。卒業後、何かに取り組むときには、自分の知っていることや考えていることだけが正しい訳ではないということを忘れないようにしたいです。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

たった3週間でも学べることや感じるがたくさんあります。さらに言えば、海外での生活を経て、日本に帰国したあとでも改めて気付くことがあります。留学の目的は語学力向上だけに限られてはいけません。留学は今しかできないことですし、行って後悔することもないと思うので、ぜひおすすめしたいです。



スプリングプログラム 英語C オタゴ大学 [ニュージーランド]

プログラム期間  
2020年2月18日 (火) ~3月22日 (日)

Report of the instructor

Otago University, the oldest university in New Zealand, is located in Dunedin on New Zealand's South Island. Dunedin is a beautiful city known for its rich Scottish and Maori heritage, European architecture, and a large student population. Otago University is the heart of the city. It is home to the Otago University Language Center, which hosts students from all over the world and delivers a range of English-language programs. The Language Center is located in a modern and state-of-the-art building conveniently located adjacent to the Otago University sports stadium. Be sure to watch a university rugby game while you're there.

When you arrive at the Dunedin airport you will be greeted by the friendly and helpful Language Center staff. The support staff at the Language Center are devoted to making sure all students are comfortable, happy, and well taken care of, both in their homestays and in their classes. In addition



to professional English instruction and small class sizes, visiting students are able to access all university facilities including student health facilities, sports centers, media centers, cafeterias, and online services. For an additional fee, you can also have the opportunity to join a weekend excursion to nearby Queenstown, "the adventure capital of New Zealand." Another suggested excursion goes to the Otago peninsula where you will be able to see some of New Zealand's unique wildlife, such as yellow-eyed penguins and the giant albatross.

With the small class sizes, historical landmarks, stunning nature, and the friendliness of the staff and local population, the Otago University Spring Program is an experience that you will not soon forget.

体験記

" 留学で知った意思あるコミュニケーション "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私は、現地の人との会話に苦労しました。ホストファミリーはとても親切でしたが、ホストファミリーの恋人や友人など毎日多くの方が訪れました。私のおぼつかない英語力に理解してくれる人ばかりではありませんでした。私はそういったコミュニケーションがとれないという状況下で、何よりも人の話を聞き伝えようとする意思を大事にしました。英語力ももちろん大切ですが、意思を示すことで話し手は理解できるように話す努力をしてくれまます。そのようにしてコミュニケーションを上手く行えるようになりました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は、言いたいことが伝わらない中で乗り越えていく力や心を身につけました。言語が伝わるという環境下では、言語に感情を伝えることを委ねてしまうと思います。しかし、言語が伝わらない中では、人の優しさは表情や行動に現れていることがよくわかりました。言いたいことが伝わらないことは仮に同じ言語を話す人同士でも起こり得ると思います。その中で、その人の行動や表情に注目し振り返れば何か気づけることがあることを知ったこと、その力を身につけたことは成長だと思えます。

3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今後、この留学で身につけた人に一生懸命に伝えようとする意思やコミュニケーションのあり方を、就職や社会人、人として活かしていきたいと思えます。日本では、意思を持って会話に全力を注ぐということは経験できませんでした。しかし、会話する、コミュニケーションするということは、単に言葉を交わすというように簡単ではなく、相手の言いたいことを理解し自分の伝えたいことを伝えるという大変な作業の上で成り立っていると理解しました。それを知り、私は本当の会話というものを日本でもしていきたいと思えました。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

私は、このプログラムに参加して本当に良かったと思えます。日本語が通じず英語も通じずというもどかしい中で、家族や恋人、友人に会いたいと思うこともありましたが、しかし、その中で親切にしてくれるホストファミリーの優しさや新しい文化に触れることで、今までの環境への感謝と同時に、知らない世界の発見や人の優しさに触れる喜びを知りました。そういった体験は貴重であるとともに、留学に行かないと得ることはできないと思えます。スプリングプログラムに行くことで、それぞれがそれぞれの発見や体験をぜひしてほしいと思えます。



サマープログラム 英語A ディーキン大学 [オーストラリア]

プログラム期間  
2019年8月10日 (土) ~9月15日 (日)

Report of the instructor

本プログラムでは、オーストラリアのビクトリア州メルボルン近郊にあるディーキン大学で夏期集中語学研修を行います。大学付属語学学校として定評のあるDUELI(Deakin University English Language Institute)の教授陣の指導を4週間にわたって受け、英語の実践的運用能力を磨くことを目的としています。

授業はレベルに応じて9コースに振り分けられ、それぞれのクラスにおいて世界各国の留学生とともに学びます。教室内でのスピーキング、ライティング、プレゼンテーション、文法、語彙、発音等の指導に加えて、グループ・プロジェクトでの野外インタビューや施設訪問など、レベルに



応じて様々なアクティビティが用意されています。現地学生とともに図書館やジム他の充実した学内施設も利用できます。

また、ホームステイを通して、オーストラリアの人々との交流や、文化、伝統を学ぶ機会を得ながら、生きた英語を学ぶことを目指します。言語と文化の違いを越えてホストファミリーと積極的に交流してください。さらに、プログラムにはメルボルンシティツアーやフィリップ島ツアー等の野外研修も含まれ、オーストラリアの街並み、歴史、自然を楽しむ機会も豊富にあります。恵まれた環境の中で英語力を高めながら異文化体験を行う、またとない機会となるでしょう。

体験記

" 5週間のプログラムを終えて "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

クラスメイトに日本人が多かったため、気を抜くと教室内ですぐに日本語を話してしまっていました。また逆に、絶対に英語しか話さないと強く自分に課してしまうと、特に留学序盤は精神的に疲れてしまうように感じました。そのバランスを保つために、教室内では日本人相手でも意識をして英語で話し、教室の外では時折日本語を話すことによって、5週間の間、精神的に疲労することなく生活することができました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

日本にいた時は、英語を話そうとすると文法の間違いなどが気になってしまい消極的でした。けれど留学中はホストファミリーやクラスメイト、街でトラムの運転手さんや店員さんとその場その場で会話をする必要があり、そうした体験を通して、話すことへの消極性を克服することができました。またホームステイ先での生活ルールが日本にいたときと大きく異なり、最初は戸惑いましたが、与えられた環境に意識して順応すること、感謝することを心掛けることによって、毎日を楽しみ過ごすことができました。

3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

DUELIで学んでいる学生の中には、結婚し子育てをしている人や、社会人経験のある人など、様々な背景を持った人がいました。日本では高校卒業→大学→就職という順番がやや固定化されているところがありますが、様々な生き方があるのだと実感することができました。こうした気づきは、様々な人々と接するにあたり、異なる価値観や背景を受け入れる精神的な柔軟性につながり、就職後も活かしていけると考えています。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

ディーキン大学は、様々な国籍や年齢の学生が通っており、DUELI内でも様々な学生と交流できます。メルボルンという都市自体も留学生に慣れており、生活する上で居心地の悪さを感じることはありませんでした。5週間という期間も、短すぎず長すぎず短期留学として充実した時間を過ごすのに丁度良い期間です。



サマープログラム 英語B コーク・カレッジ大学 [アイルランド]

プログラム期間  
2019年8月10日(土)~9月8日(日)

Report of the instructor

Our Summer Program (English B) took place in the city of Cork, Ireland from 10 August 2019 to 8 September 2019 at UCC (University College Cork). It was the sixth time that we had this program with UCC's Language School. The program lasted for four weeks. Our students first took the placement test and they are placed in classes according to their test results. Since UCC is has a long English teaching experience and reputation, our students have met and made many classmates coming from different parts of the world.



Irish culture, UCC, and different aspects of studying abroad.

All classes were in the morning and mainly focused on improving the students' speaking, listening, and vocabulary skills. They also worked on presentations to improve their presentation skills. Total number of students varies every year but this year we had 13 participants from different faculties and we met during our five preparatory classes before going to Ireland, in order to prepare our participants to take the program. We generally talked about Ireland,

The summer program also included after-class and weekend activities to encourage student to communicate more in English. Through social

activities, parties, and events, students had more opportunity to get to know each other, other cultures, and the Irish culture. There were also excursions to touristic and historical places of interest, like Blarney Castle. Students also enjoyed staying with their host families. Through this experience, they could practice more English, almost 24 hours a day, enjoy Irish culture in a genuine way, and also make friends from different countries.

City of Cork is the second largest city of Ireland and has a vibrant city life with its unique Irish culture and its famous historical sites. Students have all enjoyed city as well as various facilities of the UCC during their stay in Cork and they were all happy to get to know the unique Irish culture. Studying English in the city of Cork, together with modernity and history, and knowing the genuine Irish culture is a great opportunity one can gain in this program.

サマープログラム 英語C ケンブリッジ大学 [イギリス]

プログラム期間  
2019年8月10日(土)~9月1日(日)

Report of the instructor

ケンブリッジ大学は、物理学者ニュートンや生物学者ダーウィンを輩出した、イギリスでオックスフォードに次いで2番目に古い名門大学です。本プログラムではケンブリッジ中央部にあるセント・キャサリンズ・カレッジに3週間滞在し、英語やイギリス文化(文学や建築・美術)を学びます。緑豊かな大学内の眺めは素晴らしく、すぐ近くにケンブリッジのシティ・センターがあるので、便利かつ安心した環境で留学生活を送ることが出来ます。



英語の授業はプレシメントテストにより4クラスに分かれるため、レベルにあった授業を受けることが可能です。個性豊かな教授陣が文法や発

音をはじめとして、異文化理解やビジネス英語など様々な観点から英語を学ぶ工夫を凝らしています。また、週末にはロンドン観光や周辺地域へのフィールドトリップも用意されています。

本プログラムの最大の特徴は、ケンブリッジ大生から成る6名のTAが、あらゆる場面で手厚いサポートをしてくれることです。TAとの日常的な英語でのコミュニケーションを通じて、学んだ英語を日々実践することができます。また、定員はサマプロのなかでも比較的多く、様々な学部、学年の参加者が交流し切磋琢磨できる絶好の機会となっています。ぜひケンブリッジで貴重な夏休みを過ごしてください。

体験記

"私が感じたアイルランド留学について"

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

聞き取ることができても、思ったことをすぐ英語にすることができなかったため、ホストファミリーとコミュニケーションを取ることに一番苦労しました。私の中でも話せないことが悔しかったので、街中で聞こえてきた英語に対して、自分だったらこう答えるなあと考えることを癖づけました。ホストファミリーは私が言いたいことを言えるまで待ってくれていたため、適当に単語を並べて話すのではなく、文法も考えながら話すことを意識しました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は、自分の意見をはっきり持つこと、英語に自信がなくても積極的に話すことを目標として、このプログラムに参加しました。実際に他国の人と話して、自分がいかに自国について無知で自分の意見が曖昧であるかを実感しました。したがって、ホストファミリーに何か聞かれたときは、はっきりと答えを出し、わからなくても「わからない」だけでなく、わからないなりに理由を述べるなどしていました。日本に帰ってきてから、自分の意見をはっきり持つことができていると感じることがあったのでその点において成長することができました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

留学前は普通に大学を卒業して内定を貰ったところに就職しようという考えしかなかったのですが、今回の留学中に、海外での就職や、海外で専門知識をさらに身につけてから就職するなど様々な選択肢を実践している人たちに出会い、就職に対する考え方が変わりました。今のところは日本で就職する予定ですが、他の選択肢も頭に入れてながら卒業後も過ごしたいと思います。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

1ヶ月海外で生活してみて、語学だけでなくアイルランドの文化や様々な人の価値観を知ることができました。日本では、1つに縛られていた考え方もいろんな考え方があることを知れたので、私の中で知見や考え方が広がりました。行く前は海外で生活できるかなど不安がたくさんあると思いますが、参加すると一生の思い出に残る1ヶ月を送ることができるので、ぜひ自信を持って参加してみてください。



体験記

"様々な分野に関心が広がった"

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私は、他のプログラムメンバーより英語のリスニング力があまりなかったため、プログラムの初めの時期、早口で話されると理解がつかないことが多々ありました。英語を頭で翻訳するのではなく、状況を頭でイメージすることを意識し始めました。また、自分が話す際も英語のイメージと自分が話したいことのイメージをできるだけ結びつけるようにも意識しました。そうすると、日本語から英語へ、英語から日本語へ、といった思考のプロセスが減り、以前より英語がスムーズに話せるようになってきたことが実感できました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

自身の専攻だけでなく様々な分野への関心が高まった点が一番成長したと感じています。私は今まで、自身の学科の友人たちと交流する機会が多かったため、文系の方々がかかるような他分野の話をするのはほとんどありませんでした。今回のプログラムでは、様々な異なる学科のメンバーとの交流だけでなく、英語を活用したビジネスや文化、芸術、文学といった分野の授業があり、好奇心の幅が広がりました。他分野をもっと知ることで、今後の学生生活をより豊かなものにできると確信できました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

就職をするか、大学院進学をするかで悩んでいるのですが、将来、英語を活かせるITの職に就くことを前提に今の学生生活を楽しんでいます。私は今回の留学で、国際問題や各国の政治問題、歴史、文化等に目を向けることもまた重要であると気づかされました。お互いの国を知り、尊重する姿勢がなければ、それは協力・信頼にはつながらないと考えるからです。私は将来、英語とITを手腕に良識ある国際人になりたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

このプログラムでは、英語能力の向上はもちろんのこと、様々な出会い、様々な視野を広げるための機会に溢れています。あなたの積極性次第で、留学の前後に見えるマインド的なビジョンは大きく変わるかもしれません。また、留学自体が目的、ゴールではなく、その先にある未来のビジョンを実現するためのステップとして、このプログラムを最大限に楽しみ、学んでくれることを願っています。

セメスタープログラム 英語 I・II ウィニペグ大学 [カナダ]

プログラム期間  
2022年9月4日 (日) ~12月20日 (火)

Report of the instructor

本プログラムは、本学の協定大学でもある University of Winnipeg で学ぶ1セメスターの海外英語研修プログラムです。1871年創立のウィニペグ大学は、将来のキャリア開発を念頭にリベラル・アーツ教育を掲げ、少人数のクラスサイズで手厚い指導が特徴的です。また、学部教育にも定評がある中規模大学で、留学生に対する英語教育プログラムは30年以上の歴史を誇り、世界中から様々なバックグラウンドを持った学生が集まります。午前中のプログラムは正規留学を目指す Academic コースと会話中心の General コースのどちらかを選びます。午後の授業はいくつかの選択肢から自分で選びま



す。カナダは多言語・多文化国家でもあります。移民を多く受け入れ、隣国のアメリカとはまた違った政策を取っています。ホームステイ先も、アジア系等、多様な民族であることが珍しくありません。民族・ジェンダー・環境問題への関心も高く、授業のトピックとしてもよく出てきます。日本にいと見えない人々の多様性や世界の諸課題を肌で感じる毎日になるでしょう。学期の中間休みが冬の到来の前に1週間ほどあるので、美しい北米各地を訪れることも可能です。



体験記

" 自立性が養われた留学 "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に一番苦労した点は勉強と遊びとの両立である。私自身 Academic 5 の授業を受けていたこともあり、課題の量は他のクラスと比べても多かった印象がある。クラスの中には土日も課題に時間を当てている学生も存在していたが、私は勉強以外のことも経験したいと思っていたので、両立に挑んだ。様々な施策を行ったものの、一番効果的な方法はやはり勉強と遊びのメリハリをつけることであった。具体的には、しっかりとスケジュールを組み、それに沿っていくことである。これにより、週3回は勉強と運動に励み、残りの時間は友達と遊んだりホストファミリーとの時間に当てる。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私はこの留学で一番自立性が養われたと感じている。語学力に関しては、留学前からある程度の力があつたので、劇的な変化はあまりなかったものの、英語以外の面で成長が感じられた。特に、友達と二人でニューヨークを訪れたことは自分自身の中で非常に大きなものであった。なぜなら、旅行中たびたび一人行動の時間があつたが、はじめはとて心配であったが徐々に慣れ、最終的には世界中のどこでも一人で旅ができるという自信につながった。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回の留学で得た経験は、将来グローバルに活躍する人材へ成長するために活かしてゆきたいと思っている。私は留学に行く前から、将来海外で働きたいという思いが強く、留学に行くことを決めた理由の一つであった。そして今回も、幼少期のときに滞在していたイギリスと同様、海外に住みたいという思いを強めてくれた。4か月という決して長くはない期間ではあったが、得られた経験というのは計り知れないものであり、この言語障壁を超えた先にあるコミュニケーションというものを今後も大事にしていきたいと考える。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

自ら居心地の良い領域から飛び出し、新しいことに挑みたいと思っている方には非常におすすめのプログラムだと考える。学生の大半が日本人というクラスも存在するため、日本で受ける英語のクラスとあまり変わらない環境が簡単に作れてしまうので、積極的にその環境から脱出しないと、留学の価値は得られないのかと感じた。逆に他のコミュニティに接すれば接するほど、得られる経験というのは増えていくと思う。しかし、この能力というのは現時点で培っていかねばならないということだけでなく、「現状に満足することなく、新しいことにチャレンジしてみたい」という気持ちさえあれば、海外で貴重な経験をえられると思う。私自身この留学は非常に満足のゆくものであり、他の大半の参加者もそう感じていると考える。

スプリングプログラム ドイツ語 B フライブルク大学 [ドイツ]

プログラム期間  
2019年3月3日 (日) ~3月24日 (日)

Report of the instructor

スプリングプログラム・ドイツ語(フライブルク大学)は、ドイツ南西の「黒い森の都」フライブルクで開講される3週間の春期研修講座です。世界各国から集まった学生たちと一緒に、100年前から留学生向けプログラムを行っている大学付語学インスティテュート(SLI)で実践的なドイツ語を集中的に学びます。平日には午前と午後コミュニケーションを中心とした初中級者対象のドイツ語講座、ドイツ・ヨーロッパ文化と社会の授業が用意されています。週末には大学主催のエクスカッションもあり、アルザス地方や自然の豊かなシュヴァルツヴァルト等を訪れる機会もありますので、積極的に参加するとよいでしょう。



フライブルクは、フランス、スイスに近く、多文化的な環境にも恵まれて、革新的なインフラと気候保護政策で国際的に知られている先進都市で

す。歴史的建造物、美術館、オペラハウスなど探訪できる場所も多くあり、有名なお祭りのファストナハト(南ドイツのカーニバル)も体験できます。

教室で習ったドイツ語を様々な場面で応用しながら多くのドイツ人と交流し、学生寮と一緒に滞る留学生とも仲良くなり、新鮮な経験の多い日常生活を楽しんでください。また、市レベルで取り組まれている環境・移民対策を意識し、グローバルな問題に対する理解を深めるチャンスをつかみましょう。

体験記

" 短期留学だからできること "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

現地の方が話すドイツ語が早くてなかなか聞き取れないことが苦労しました。しかし、授業や寮で仲良くなった留学生の友達に教えてもらうことで、だんだんドイツ語が聞き取れるようになっていきました。ドイツ人に限らず多くの国からの留学生は、学習意欲が高く、英語も堪能だったので、理解できない部分を英語で解説してくれました。

また、寮で自炊しなければいけないというのも大変だと思ったのですが、海外の学生とそれぞれの伝統料理を作ったり、食文化の話をしたり、むしろ交流のきっかけになって良かったです。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

ドイツ語学習者なのだから間違っただけで当たり前、という考えのもと、間違えることを恐れずたくさん発言することが評価される授業だったので、積極的に質問や意見を言う力が身につきました。また一度間違えることで、次からはわかる、そして使えるドイツ語となり、結果的にドイツ語やコミュニケーション能力の向上につながることができました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

留学中、様々なバックグラウンドを持った人々に出会うことができ、文化や価値観の違いを実際に感じる素敵な機会になったと思います。また、それぞれの地域の人が持つ考え方を理解しながら、一つの時間をともに過ごすというのは、自分自身を理解し直すことにつながると考えます。自分を見つめ直しながら、互いを認め合えるような人になるために言語などの文化や歴史を学ぶことは重要だと考えました。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

短い期間ですが、だからこそ積極的に行動でき、振り返ってみると無駄な時間は一瞬もなかったと思います。語学や生活に不安を感じるより、一度しかない出会いや経験ができるチャンスを、まずはつかんでみてほしいです。



### サマープログラム フランス語 フランシュ=コンテ大学 [フランス]

プログラム期間  
2019年8月9日 (金) ~9月10日 (火)

#### Report of the instructor

サマープログラムが行われるプザンソン市は文化の豊かな小さな街です。「世界に開かれた、力強い創造者としての私」という言葉で有名な作家ヴィクトル・ユゴーが生まれた地であり、作家スタンダールの小説『赤と黒』の舞台にもなりました。フランス製時計の発祥地といわれ、時計博物館をはじめたぐさの名所があります。ローマ帝国の影響を受けた歴史建築なども楽しめるプザンソンはユネスコ世界遺産に登録されています。首都のパリやフランスガストロノミーを代表するリヨンへは約2時間30分で行くことができ、日帰りの小旅行ができます。スイスやドイツに近いので、隣国の雰囲気も感じられます。



このサマープログラムでは、フランス語教育界で最も有名な応用言語学センター(CLA)でフランス語が学べます。学習者に相応しいレベル(初級

~上級)の少人数クラス(18人以下)で、様々な国から来るクラスメイトと一緒にフランス語の文法や音声学やフランス文化などを2人の先生のもとで学習します。CLAの各サービス担当者も優しい方々ですので、何か困ったことがあれば安心して相談してください。CLAでフランス語の4つの能力(聴解、読解、発話、作文)を磨くことはもちろん、現地の人とのやりとりや、遠足に参加したり、日常の暮らしを体験したりする中で、フランス人の生き方、考え方に触れ、フランスの言葉や文化をより理解するきっかけにしてほしいと思います。プザンソンでいろいろなフランス語の体験をして、一生の思い出を作ってください。

#### 体験記

## "リスニング力の成長を実感"

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

発音が難しく、話しても伝わらないことが多かったので苦労しました。もともと知っている語彙が少ないのにわかる単語も通じないのがとても悔しかったですが、プログラムの終盤は伝わらないことに慣れて落ち込まなくなりましたし、大きい声で何度も言うことで少しずつわかってもらえるようになりました。また似た発音の単語が複数ある時、その違いが何回聞いてもわからなくて苦労しました。しかしわからないことを先生に伝えると先生は授業を中断してまで教えてくれたり、クラスメイトが英語で解説しなおしてくれたりしてとても助かりました。



### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

リスニング力に関しては行く前より成長したと思います。特にお店の店員さんなどの町のネイティブの人は聞く側がわからなくてもまずフランス語で話してくれるので、精神面では、もともと慎重な性格ですが一緒に行ったメンバーの影響もあってはっきり主張ができるようになったと思います。クラスメイトが本当に多国籍で、いろいろな国の人とコミュニケーションをとる社交性も上がったと思います。

### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

トラブルが起きた時対処したり、言葉が足りないなりに言いたいことを伝える力がついたと思います。特に語学を武器として就活や進学を考えているわけではないのですが、フランス語の勉強を続けて今後活かしたいです。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

参加を迷っているならぜひ参加してもらいたいです!旅行会社の現地の駐在の方や引率の先生はトラブル等で学生が連絡するまではずっと見守ってくれるので安心で、プログラム中はとても自由ですし、週末はたくさん旅行に行けます。参加すれば絶対に得るものがあるプログラムだと思います。



### サマープログラム 中国語 北京大学 [中国]

プログラム期間  
2019年8月9日 (金) ~9月1日 (日)

#### Report of the instructor

2019年度の中国語サマープログラムは8月9日から9月1日まで、北京大学で実施されました。参加したのは、中国語を1年半ほど学習した2年生を中心に、上級生や初学者、韓国人留学生も含む計17名でした。授業は、各自の語学レベルに応じてクラス分けされるので、どのような学生にも対応可能です。学生たちは、日本の他大学の学生や様々な国から集まった留学生とともに学び、協力関係を築きながら語学力を養い、異文化への理解も深めています。



語学の授業は平日の午前中、経験豊富な中国人の先生が担当しますが、午後の時間をつかって、補講プログラムによる個人指導を受けることもできます。さらに、万里の長城などの史跡の見学や、京劇の鑑賞などの各種イベントも用意されています。また自由時間も多く、学生たちは自分たちで他の世界遺産を訪れたり、街の散策に出かけたりすることもできます。期間の中ほどには、寝台

車に乗って内モンゴルを訪れる小旅行も全員参加型で組み込まれています。草原でモンゴル族の食生活、放牧、生活文化環境を体験することができ、都会とは違った世界も味わえます。

参加学生からは、このような留学生活を通して、中国語のリスニングとスピーキング能力が大幅に高まった、中国に対する認識が変わった、といった報告を多く受けています。

座学だけでは学びえない多様な収穫があるサマープログラムの経験は、今後の学生生活を豊かにし、新たな学びや将来に対する何らかのヒントを与えてくれるものになるはずです。新たな学生の参加をお待ちしています。

#### 体験記

## "北京留学で得られたもの"

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

買い物や観光地に行った際に、現地の方と会話をする時に上手く中国語を話すことができなかつた。慣れるまでは苦労したが、回数を重ねるごとに会話ができるようになった。机上ではあまり学ぶことがないフレーズが多かったため、日常生活でのリスニングやスピーキングで会話力を上げることができた。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

北京に1ヶ月住むことで、語学力と精神面での成長ができた。語学力については、これまでリスニングがほとんどできなかったが、単語やフレーズが聞き取れるようになった。また、精神面については、挑戦することの大切さを改めて学び、中国人の生きる強さに影響を受けて自分も強くなった。日本ではあまり感じることはない緊張の中で生活することで、グローバル社会で生きる上での対応力を身につけることができた。



### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

卒業後は中国語をさらに学び、中国に対する理解をさらに深め、北京以外の都市を訪問したいと思う。また、就職した時には、北京で得た強さや学びを糧にして、自分自身でいろいろなことに挑戦していきたい。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

北京でのサマープログラムは短期間だが、この1ヶ月の間に様々な経験を通じて多くのことを学ぶことができるため、迷っている方にはぜひ参加してほしい。私は実際に北京で生活してみて、苦労する場面もあったが、それ以上に中国のことがもっと好きになり、かけがえのない思い出を作ることができた。英語圏ではない国に留学する機会はありませんので、大学生のうちに経験してほしい。

サマープログラム スペイン語 ラス・アメリカス大学 [メキシコ]

プログラム期間  
2019年8月10日 (土) ~9月9日 (月)

Report of the instructor

2019年のスペイン語サマープログラムは、メキシコ第三の都市プエブラの郊外にあるラス・アメリカス大学で4週間にわたって実施されました。毎日9時から13時半までメキシコ人のアルフォンソ先生によってスペイン語だけで進められる授業を受け、大学のカフェテリアでの昼食を皆さんで15時から日替わりでラテンダンスやメキシコ料理の講習、近隣の遺跡や教会の見学、メキシコ人学生との会話サークルといった文化的プログラムに参加しました。

テオティワカンのピラミッドとメキシコシティの歴史地区を訪れる日帰り旅行と、南部のオアハカと、その近郊にあるモンテ・アルバン遺跡を訪れ



る1泊2日の旅行によって、この国への理解と興味が一層深まったようです。また、4週間のホームステイを通してメキシコの日常生活を体験できるのも、このプログラムの大きな魅力です。最初のうちはスペイン語での意思疎通に苦労していましたが、帰国する頃には皆、温かく迎え入れてくれたホストファミリーと別れがたい気持ちになっていました。感受性豊かな若い時期のこうした異文化体験は、人生観を広げるうえで間違いなく大きな意味を持ちます。1人でも多くの人に積極果敢に未知の世界に飛び込んでもらいたいと願っています。

### 体験記

## " 積極性を持って過ごした充実した時間 "

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

メキシコで現地の人とコミュニティを築き、コミュニケーションをとることだ。学校では、同志社大学生のみの特別授業であったため、他大学生のコミュニティを築くことは難しかった。しかしホームステイだったため、家族との関係性を重要視することに決めた。例えば学校での出来事、放課後での出来事の写真を材料にする等、家族に見せながら会話を弾ませることに成功し、スペイン語を通して、良い関係性に導くことができたと思う。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

スペイン語を話そうとする積極的な精神だ。初めの1週間は、英語でもない言語を話すことに慣れておらず、家族が自分に何を提案してくれているのか、はい、いいえの自分の意思すら曖昧で伝えることに苦労した。授業でも、初めは理解するのも困難だったが、毎日スペイン語で日記を書く、必ず食事の後は家族と話す、話の内容が理解できない時は恥だと思わず、何度も聞き直す等、強い精神が必要であると気づき、残りの短い時間をいかに成長して帰国することができるかを考えることで、有意義な時間を過ごせたように思う。



### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

日本では、困難に直面したとしても、頼れる相手に相談することができる。しかしメキシコでは、その相談もできず、自分で考え行動に移した場合、自己責任を同時に伴う。責任について考えることで、物事を多面的に見つめ直し、的確に判断する力を身につけることができた。この臨機応変に対応する力と、物事をじっくり考察する力は、何か困難に直面した時も、動じずに自分らしさを武器に問題に取り組むことができるのだ。そのため、このメキシコで培った能力を、社会で活かしていきたい。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

メキシコは危険な国だと言われる。確かに危険な国であり、注意深く生活する必要はあるが、安全な国だと言われる日本での生活に慣れているからこそ、日本を客観的に見つめる良い機会になると私は考える。新しい視野を構築できるようになるし、新たな考え方も生まれるようになると思う。この経験は私の中で、大きな財産となっている。皆さんにもぜひ、新たな視野と経験を築いてほしい。



サマープログラム ロシア語 ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学 [ロシア]

プログラム期間  
2018年8月19日 (日) ~9月10日 (月)

Report of the instructor

2018年度のサマープログラム・ロシア語は8月19日(日)から9月10日(月)にかけてロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学を研修先として実施された。

初日の午前はマイクロバスによる市内ツアー、午後は簡単なパーティーとオリエンテーションを終えた後、口頭によるクラス分けのための簡単なテストが行われた。7名の参加者は二つのクラスに分けられ、2日目以降は10時から13時までの授業(休憩あり)が、土・日曜日を除いて毎日行われた。

同志社大学の学生を何年にもわたって教えていただいているシュルギン先生らによる授業は、アットホームな雰囲気の中で進められた。ロシア語の



早口言葉、キャンパスツアー、簡単なロシア史の講義など盛りだくさんである。

帝政ロシアの首都であったサンクト・ペテルブルクには見るべき建造物や博物館が多いが、大学国際課の職員タチャーナさんの尽力により効率的に多くの場所を回ることもできた。滞在期間の終わりは学生たちは、自主的に町を探訪していたようである。関西空港使用不能状態への対応で、引率者はかなり時間をとられたが、学生たち自身がしっかりと自己管理をしてくれたおかげで大いに助かったと思っている。

### 体験記

## " こまめに調べる癖で単語量が増えた "

### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ロシア語は大学でずっと授業を取っていましたが、実際に話したり聞いたりするよう力を持ち合わせておらず、自分の語学力の低さには苦労させられました。授業で先生の話していることを理解する、お店で買い物する際の店員とのやりとりなど、初めはただ頭がいっぱいになって言葉を発することもできませんでした。少しでも知っている語彙を増やそうと思い、知らない単語はすぐに辞書で調べてノートにまとめることを毎日続けているうちに、次第に相手の言っていることが少しずつ聞き取れるようになり、単語を並べて自分の言いたいことを伝えられるようになりました。

### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力に関して、街中にある看板や標識に書いてある単語を見るたびに、どういう意味なのか調べる癖がつき、自分の単語量が増えたと思います。また、授業で毎日出される「その日の出来事」を文章で書くうちに自分の言いたいことを文章にして伝える力が少しついたように思います。



### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回のサマープログラムに参加し、ロシアの文化や歴史、人々の生活の様子について学ぶことができたのと同時に、自分がいかに日本のことに関して無知であるかがわかりました。今後は日本、主に今自分が通っている京都の歴史や文化について学び、日本の魅力を海外の人に伝えていきたいです。

### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

ロシアという自分にとって未知の国に行くということに参加するが迷いましたが、今は参加して本当に良かったと思います。実際にロシアの地で生活し、街の風景を見たり、買い物をしたりすることで、もっとロシア語を勉強して話せるようになりたいという意欲が湧きました。自分の語学力を伸ばしたいと考えている人はもちろん、少しでも興味がある人は参加してみることをお勧めします。

### サマープログラム 韓国語 / ハングル 延世大学 [韓国]

プログラム期間  
2019年8月22日 (木) ~9月17日 (火)

#### Report of the instructor

本プログラムは、本校の夏休み期間中に延世大学韓国語学堂の3週間短期課程を利用し、ソウルで韓国語を学習するものです。日本では、日本語が上手な韓国語教師から韓国語を学ぶのに対し、韓国の語学堂では日本語が全く話せない教師がほとんどです。また、ほとんどのクラスは、多様な母語話者の学生で構成されるため、教室内でも、日本語でのコミュニケーションが可能である日本国内の学習状況とは全く異なる環境になります。さらに、教室の外でも韓国語だけで生活しなければいけません。このような言語環境なので、3週間というそう長い期間でも、各自の韓国語レベルを十分に高めることができる



でしょう。

3週間の短期課程では、週5日(月曜日~金曜日)、毎日4時間(午前9時~午後1時)、総60

時間の授業を履修します。正規課程が始まる前にレベルテスト(クラス編成試験)を通じてそれぞれの韓国語能力に合ったクラス(1級~8級)に編入されます(一つのクラスの学生数は13人ほどでした)。正規授業以外に週に一度韓国文化体験を学びます。主に韓国料理の体験、サムルノリ、公演観覧などがあり、積極的に参加して、楽しく韓国語のレベルを向上させることができます。

延世大語学堂は世界で最も大きく、優れた韓国語教育機関です。自分の韓国語の実力を飛躍的に高めたくありませんか?思い切って今挑戦してください。驚くほど大きな効果があるでしょう。

#### 体験記

### " 異文化に触れる有意義な時間 "

#### 1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

初めは現地の人が何を言っているのかがはっきり聞き取れず、文化の違いから、3週間やっていけるのか不安になりました。しかし、わからないことは現地の友人に聞いたり、日本人の友達とも情報交換をしたりすることでその不安も日に日に薄れていきました。この経験から、一人で抱え込むのではなく、周りの人と支えあうことも大切だということを学びました。特に文化の違いを感じた経験などの共有はとても有意義なものでした。

#### 2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学面で成長したと感じたのは、買い物をした時やご飯を食べに行った時です。旅行で訪れた時のような片言の韓国語ではなく、ちゃんとした韓国語で注文できた時や、店員さんが何を言っているかがわかった時に成長したな、と感じました。これは今回の留学の約3週間滞在したからこそではないかと思っています。日常的に店でのコミュニケーションを経験することで、どういった言葉が使われ、どう返すべきなのかを教科書からではなく実践で学んだな、と実感できました。



#### 3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学を通して、卒業後も何らかの形で韓国に関わっていきたいという思いが強くなりました。そのために常にいろんな可能性を探し求め、多方面にアンテナを張っていきたくと考えています。また、留学経験は自分の1つの魅力になりますが、留学した事実だけでなく、そこで学んだ異文化理解や協力の大切さも自分の魅力としてこれからも磨き続けていきたいです。

#### 4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

サマープログラムは約3週間という他のプログラムと比べて比較的短い留学期間です。しかし、その国の文化への関心を深め、自分の言語能力を確かめ、さらに高めるには決して短い期間ではないな、と感じました。現地の言葉に自信のない方も、ちょっと挑戦してみよう、という気持ちがあればぜひ参加することをお勧めします!



### ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

2017年度にドイツのテュービンゲン大学に同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(以下「EUキャンパス」という)を開設し、2019年度からEUキャンパスで開講する教育プログラムである、「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」をスタートしました。EUキャンパスの特色を生かした科目構成となっていますので、ぜひこの機会にEUキャンパスで多様な価値観に触れ、幅広い視野を身につけてください。

本プログラムは以下の4科目、14単位で構成しており、全て春学期科目となります。

科目名	クラス	単位数	概要	定員
セメスタープログラム・ドイツ語 I・II	-	各4単位	1セメスター集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。また、環境政策に重点を置いたフィールドトリップも実施します。	約15名 (最少催行人員10名)
Intercultural Studies	-	2単位	テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。	
EUキャンパス特別講義	001 002	2単位 2単位	ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とします。テーマごとにクラスを展開します。	

※2023年度プログラムの募集は終了しています。2024年度の募集、及び科目の詳細については、2023年10月上旬に実施予定の募集説明会に参加し、そちらで配布される募集要項を確認してください。募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2023年9月上旬に公開する予定です)。

[https://international.doshisha.ac.jp/study\\_abroad\\_program/eucampusprogram/eucampusprogram\\_depg.html](https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html)



#### EUキャンパス支援室長 和田喜彦教授からのメッセージ

テュービンゲンはドイツの南西部に位置する人口約9万人の学術都市です。テュービンゲン大学は、室町時代、応仁の乱が終結した年1477年に創立されたドイツ最古の大学のひとつです。新島襄もこの大学の存在をよく認識していたようです。テュービンゲン大学は歴史が古くだけでなく、現在も高い学術的水準を維持しています。2023年のTimes Higher Education世界大学ランキングは86位となっており、また、ドイツの大学で最高水準の大学であることを示すエクセレンス・イニシアティブにも選ばれています。これまでにノーベル賞受賞者11名を輩出しています。このような学修環境で学ぶことができるのはとても恵まれていることといえましょう。

EUキャンパスプログラムは、新島襄が望んでいた同志社大学の教育展開の一環であると考えています。積極的な参加を全学部の学生に呼びかけたいと思います。このプログラムを通じて真の国際人になるきっかけをつかんでください。



# ドイツ語 セメスタープログラム

German

## セメスタープログラム ドイツ語 I・II テュービンゲン大学 [ドイツ]

プログラム期間  
2022年2月28日(月)～8月7日(日)

### Report of the instructor

「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は、2019年に新設され、爾来、同志社大学とドイツのテュービンゲン大学、両大学の異文化交流の教育プログラムとして、ドイツ語・異文化理解の面で多くの実績を残してきました。長年にわたって研究交流が継続されており、今出川キャンパスには「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」が設置されています。2022年度も本プログラムが実施され、集中的にドイツ語研修を受けるとともに、ドイツ及びEU文化、社会などについて学ぶものです。今出川キャンパスで4回のドイツ語集中コースに出席していた学生14名は4ヶ月テュービンゲン大学内で研修しながら、ドイツの生活を



満喫できました。留学の体験は、ゼミや授業からの学びを実り多く「見える化」したものです。多くの驚きや戸惑いがあったと聞いていますが、こうしたドイツから帰ってきた学生諸君の多彩で積極的な達

成感こそが、同志社大学の発展にとって最も重要な基盤となります。本プログラムに参加された学生諸君がこれからもドイツ語の勉強をし続けることを期待しています。最後になりますが、ご協力いただいた、両大学の職員や教員の皆様にご心より御礼申し上げます。



### 体験記

## "ドイツに触れ仲間と出会った素晴らしい時間"

### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

僕が留学中に苦労したことは、やはりドイツ語の授業です。このプログラムでは、はじめの1ヶ月間同志社大学生だけのドイツ語講義が開かれ、その後はイタリアやトルコなど、世界中の留学生と一緒にドイツ語を学びます。僕は留学した当初、ドイツ語の基礎すらままならない正直悲惨な状況でした。そのため、はじめの頃はドイツ語で進む授業のほとんどを理解できず、周りのみんなと比べた時の劣等感から落ち込むことが何度もありました。この大変だったことを乗り越えた方法は2つあり、1つ目は、毎日の予習・復習とドイツ語で日記を書く習慣を身につけたことです。そして2つ目が運動でのストレス発散です。寮の近くにはプールがあったので、落ち込んだ日は、たくさん泳いだり、趣味であるサイクリングをしたりすることでリラックスしていました。辛いこともありました、頑張る時は頑張る、遊ぶ時はとことん遊ぶことで乗り越えることができました。

### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

この留学を通して、積極的に話す力が身についたと感じています。僕はこれまで、初対面の人に話しかけたり、授業中に自分の意見を述べたりすることが苦手で、実際にドイツに到着してしばらくの間は、自分のドイツ語能力に対する自信の無さから、発言することを避けてしまっていました。しかし、これではドイツ語を話す機会を逃してしまうだけだと感じ、拙いドイツ語でも自分の気持ちを伝えることを心がけました。すると周りの人も僕の気持ちを理解しようとしてくれました。その時僕は、自分のドイツ語が通じた時の嬉しさと、何事もまずは行動に起こすことの大切さを改めて学びました。そして、近郊の街までのサイクリングや、自分で電車の時間や観光名所を調べて一人旅ができるほど精神的にも強くなり、積極的に行動できるようになりました。語学力だけでなく、人間的にも大きく成長を感じることができたドイツでの半年間でした。

### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

僕は、この留学を通してドイツの経済に興味を持ちました。そして、将来的には、ドイツに支社を持つ企業で、日本とドイツをつなぐ存在になりたいと考えています。ドイツは、自動車産業を中心に世界トップクラスの経済大国であると言えます。約半年間の中で、日本にない商品をたくさん発見することができ、ドイツで生活する人々の「生」を肌で体感することができました。そして現地に行くまで気づけなかった日本社会の改善点も、この留学を通して見つけることができました。これらの経験を存分に活かし、今後の自分につなげていきたいと考えています。

### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

僕にとって、これが初めての海外で、初めての一人暮らし生活になるので、本当にこれから先やっつけいけるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、留学することが僕にとっての憧れであり、何事も挑戦としないといけないと感じ、思い切ってこのプログラムに参加しました。ドイツには、日本では見ることでできない景色や食べ物、習慣がたくさんあり、どれも僕にとって強い刺激になりました。また、自分の書道の作品をドイツ人に渡した時にとても喜んでくれたことや、一緒に日本の曲を歌うことで、日本文化の良さも再認識しました。このプログラムを通して、ドイツの豊かな自然や文化に触れ、辛いことも一緒に乗り越えようと寄り添ってくれる仲間に出会い、素晴らしい時間を過ごすことができました。この約半年間は、僕にとって大きな財産であり、かけがえのない思い出です。今ではこのプログラムに参加して本当に良かったと感じています。

## 海外留学プログラム統計(出願者・合格者)

こちらは渡航して実施を予定したプログラムの統計となり、新型コロナウイルス感染症拡大前に募集を行った2018～2020年度の統計結果を掲載しているプログラムがあります。2020年度は募集を行ったプログラムもありますが、全プログラムにおいて渡航することができませんでした。2021年度は全プログラムにおいて渡航することができませんでしたが、一部のプログラムでコロナ禍における特別措置としてオンラインで実施しました。2022年度はスプリングプログラム、セメスタープログラムの一部のプログラムで渡航して実施しました。

### ▶ スプリングプログラム

科目名	研修先	定員	2022年度		2019年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ホーソン・メルボルン英語学校(オーストラリア)	約25名	2022年度開講なし		65	30
	ヨーク大学(イギリス)	約24名	77	24	34	25
	セブ医科大学(フィリピン)(※1)	約30名	6	8	29	30
英語B	セント・メアリーズ大学(カナダ)	約30名	2022年度開講なし		21	30
	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	2022年度開講なし		17	20
英語C	カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)	約25名	40	30	17	18
	オタゴ大学(ニュージーランド)(※1)	約25名	4	8	14	17
英語D	2016年度以降開講なし					
ドイツ語	フライブルク大学(ドイツ)	約20名	5	5	17	16
フランス語	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修)(フランス)	約20名	8	8	10	9
中国語	華東師範大学(中国)	約20名	2022年度開講なし		9	8
スペイン語B(※2)	サラマンカ大学(スペイン)	約20名	12	12	26	24
コリア語	慶熙大学(韓国)	約20名	2022年度開講なし		18	18

(※1)こちらのプログラムはオンラインによりセブ医科大学は英語A(4単位)、オタゴ大学は英語B(3単位)で実施しました。  
(※2)2021年度以降、スペイン語B(3単位)で実施しています。

### ▶ サマープログラム(英語)

科目名	研修先	定員	2019年度		2018年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ヨーク大学(イギリス)	約24名	25	25	14	14
	ディーキン大学(オーストラリア)	約20名	31	20	20	19
	アリゾナ大学(アメリカ)	約20名	6	8	9	9
	ゲルフ大学(カナダ)	約40名	26	29	29	27
	セブ医科大学(フィリピン)	約30名	41	36	28	23
英語B	トンブソン・リバーズ大学(カナダ)	約30名	16	16	19	17
	スタンフォード大学(アメリカ)	約10名	8	8	4	4
	カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)	約25名	23	24	22	22
	コーク・カレッジ大学(アイルランド)	約15名	11	13	3	0
英語C	ロンドン芸術大学(イギリス)	約28名	23	22	17	18
	ケンブリッジ大学(イギリス)	約40名	39	38	36	37
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)	約30名	10	9	23	20

### ▶ サマープログラム(初修外国語)

科目名	研修先	定員	2020年度		2019年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
ドイツ語A	2019年度以降開講なし					
ドイツ語B	マルティン・ルター大学(ドイツ)	約20名	5	3	4	3
フランス語	フランシュ=コンテ大学(フランス)	約20名	3	2	7	5
中国語	北京大学(中国)	約20名	16	13	18	17
スペイン語	ラス・アメリカス大学(メキシコ)	約20名	2	2	3	3
ロシア語	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学(ロシア)(隔年)	約20名	5	5	-	-
コリア語	延世大学(韓国)	約20名	11	11	24	23

### ▶ セメスタープログラム

科目名	研修先	定員	2022年度		2020年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語I、II	ウィニベグ大学(カナダ)	約30名	31	25	52	30
	ディーキン大学(オーストラリア)	約30名	2022年度開講なし		47	30
	ハワイ大学(アメリカ)	約30名	8	7	8	26
ドイツ語I、II	テュービンゲン大学(ドイツ)	約15名	17	14	24	15

※サマープログラム・ロシア語は、隔年開講。

※出願者より合格者が多いプログラムは、第2希望以下を併願し合格した者を含む。

※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」の出願者、合格者数は「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の統計結果となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、35ページを確認してください。

# 外国語関連科目

本学では、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目として、全学共通教養教育科目を提供しており、「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。「科目」は全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「○○科目」という名称のグループ分けしたものです。「科目群」は関連する「科目」をピックアップし、体系的に履修することができるようにしており、「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあります。その中で「国際教養科目群」は「国際教養科目」と一部の「クリエイティブ・ジャパン科目」、「外国語教育科目」で構成されています。

「国際教養科目」及び一部の「クリエイティブ・ジャパン科目」は異文化及び日本文化、世界の諸相及び諸課題を理解する「科目」、「外国語教育科目」は外国語運用能力、コミュニケーション能力を養成する「科目」となっており、バランスよく国際感覚を身につけることを目標としています。また、「国際教養科目」「クリエイティブ・ジャパン科目」には、外国語で授業が行われる科目や、留学生とともに学ぶ科目などが含まれています。国際社会で活躍するための素養を身につけるため、ぜひ、積極的に履修してください。

## 国際教養科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位数	科目区分
基礎科目	1～	国際教養基礎論1	2	国際教養科目
		国際教養基礎論2		
		日本近現代史		
		世界近現代史		
		世界の宗教		
		留学関連科目以外の外国語教育科目		外国語教育科目
展開科目	1～	比較言語文化論1	2	国際教養科目
		比較言語文化論2		
	1～	地域言語文化論1	2	
		地域言語文化論2		
	1～	メタ言語文化論1	2	
		メタ言語文化論2		
2～	ジョイント・セミナー比較文化論	4		
留学関連科目	1～	日本とアジア1	2	国際教養科目
	1～	日本とアジア2	2	
	1～	チュービンゲン大学科目	2	
	2～	Intercultural Studies	2	
	2～	EUキャンパス特別講義	2	
	1～	Freshman “Go Global” Program	2	
	1～	日本の伝統と美	2	クリエイティブ・ジャパン科目
		日本の伝統と文化	2	
		日本の伝統と芸能	2	
		日本の伝統と能楽	2	
日本の伝統と芸術		2		
		海外留学プログラム (サマープログラム、スプリングプログラム、 セメスタープログラム)		外国語教育科目
		グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→52ページ参照)		国際教養科目

## 外国語関連科目について

外国語の学習は、その言葉が使われている地域の文化や歴史、つまり幅広い教養の習得の過程でもあります。グローバル化していく社会は、専門的な知識はもちろん、異文化を理解するための開かれた心を有する人材を求めています。本学では「比較」「地域」「メタ」という異なる切口からの3つの「言語文化論」に加え、グローバル社会の諸事象を扱う「国際教養基礎論」などの多様な外国語関連科目を提供しています。このような関連知識の吸収を通して外国語の学習がより深められると期待されます。また本学では「外国語honors(オナーズ)制度」[P.50参照](#)の申請資格や「Doshisha “Go Global” Passport」[P.51参照](#)の授与要件としても外国語関連科目の履修を定め、外国語の学習と教養の習得が自然にキャリア形成につながるように配慮しています。関心ある学生諸君の積極的な受講を勧めます。

### ▶ 比較言語文化論

言語は、対象を把握し世界を理解するための一つの枠組み(体系)です。そして言語の上にその言語に固有の文化が築かれることとなります。とは言うものの、多くの場合、一つの言語文化は純粋にそれだけ孤立して存在するものではなく、他の異なる言語文化と動的な関係を持ち、交渉することによって自らを形成するという側面を持ちます。比較言語文化論は、二つ以上の異なる言語文化の接触による受容と変容の過程を考察することを目標とします。その際に、どの言語文化が「優れている」とか「正しい」とかいった狭量な価値評価の姿勢ほど不適切なものはないでしょう。例えば「英語」というひと括りの中で考えても、イギリスやアメリカ合衆国で使われる英語がスタンダードで、その他の地域で使われる英語は「方言」と考えるのは危険です。イギリス英語もアメリカ英語もシンガポール英語もガーナ英語も、それぞれが「英語」のバリエーションとして対等の位置づけをされるべきなのです。そういった高次の視点を培うことこそが、この比較言語文化論の目的といってもよいでしょう。

### ▶ 地域言語文化論

政治、経済、そして情報ネットワークの各領域におけるグローバル化が唱えられて久しくなります。このような新しい時代の流れの中で、「ローカル」と「グローバル」の境界線はますます曖昧で流動的になってきています。しかし、一方で、世界の様々な地域で様々な民族が様々な言語を使って暮らしていることは紛れもない現実であり、「グローバル化」の名のもとに単純には捉え切れない複雑化した歴史的背景と多様な価値観が存在するのです。21世紀を生きる私達には、こうした多面的な現実に対する、より洗練された視点が必要とされているのではないのでしょうか。「ローカル」と「グローバル」の潜在的歪みや、その歪みの中で生きる人々に対する同時代人としてのまなざしを養っていくことが、今ほど必要とされている時はないのでしょうか。今年度の「地域言語文化論」でも様々な地域に関する講義が提供されますが、どれも人間と社会、文化の多様性をより立体的に捉えるための内容となっています。

### ▶ メタ言語文化論

言語は、人間を他の動物と区別する大きな要素といわれています。地球上には現在知られているだけで約6,000の言語が存在しています。さらに、調査が進めば言語の数は、8,000から10,000に達すると推定されます。その一方で、すでに90%の言語が消滅の危機に瀕しているといわれているのです。言語は日常生活の中で使われ、どんなに小さくてもその言語を共用する共同体(言語共同体)が、存在することで存続することができるのです。このことは言語と言語共同体が不可分の関係にあり、ある言語が他の言語にとって代わられたとき、その共同体とその文化そのものが変質することを意味しています。それは言語が文化を形成する重要な要素であり、言語は文化そのものといってもよいからです。メタ言語文化論は、個別の言語を学習するのではなく、人間にとって言語や言語を含む文化記号がどのような意味を持つのかを考える講義科目群です。今、私たちが当然視している言語とは何かをじっくりと考えてみませんか。

### ▶ 国際教養基礎論

「国際教養」という言葉は、皆さんには耳慣れない言葉かもしれません。「国際」という言葉と「教養」という言葉のドッキングに違和感を覚える人もいるでしょう。しかし、「国際教養基礎論」はとりたててとっぴなことを学ぶ科目ではありません。本学に入学した皆さんは、英語をはじめとする様々な外国語を学ぶことになります。しかしどのような外国語にせよ、言語には必ず固有の文化的基盤が存在します。英語は今や世界共通語のようになっていますが、どのような地域で用いられようか、どのような人種、民族の人に用いられようか、英語は英語である限り、この言語を母語として用いてきた人々の歴史や文化を根っここのところを持ち続けています。同じようなことは他の外国語についてもいえます。ですから、外国語の学習においては、言語の背後にあるそのような文化的基盤を知っておくことが大変役に立ちます。簡単なゲームでさえ、ルールを知らなければ少しも面白くないのと同様に、世界の様々な地域の文化を知るためには、まず最低限知っておくべき事柄があります。これを勉強するのが「国際教養基礎論」なのです。講義担当者はそれぞれに自分が担当する外国語の文化的基盤に対する見識を持った専門家ばかりです。外国語学習に役立つ、と書きましたが、必ずしも自分が学んでいる外国語に関係のある科目を受講しなければならないというわけではありません。皆さんの将来計画や興味、関心に合わせて履修することが可能です。また「基礎論」とはいうものの、興味があれば何年次生でも履修が可能です。

## 外国語能力評価

今の自分の外国語の能力がどこにあるかを、下の表を見て把握してみましょう。そうすれば、これから授業や日頃の学習を通して、どこを伸ばしていけば良いのかが見えてくるはずです。

## CEFR※自己評価の目安(簡略版)

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解する	聞く力	はっきりと、ゆっくりと話してもらえれば、聞きなれた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難なく理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログなどの中の良く知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや簡単な手紙は理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテキストなら理解できる。簡単な私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	複雑なテキストを理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキストなど、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話す	会話力	必要なことや身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	短い社交的なやり取りをすることができる。	日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話ができる。	身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った言葉使いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも努力しなくて加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また、知っている人たちについて簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語るができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめることができる。	論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書く	書く力	お祝いのメッセージなど、短い簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。私信や経験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。

※Common European Framework of Reference for Language(ヨーロッパ言語共通参照枠)

## ▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

グローバル教育センターが提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを20名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。原則、外国人教員、または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに受講すると効果的です。1科目のみでも受講することができますので、科目内容への関心に応じ、チャレンジしてください。(詳細は52ページ参照)また、次項(留学生と学ぶ科目)で紹介するAKP科目、KCJS科目、スタンフォード大学科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」に含まれています。

## ▶ 留学生と学ぶ科目

京都で多彩な教育研究を展開する本学へは海外からの留学生も多く、国籍を超えた学びと交流の場があります。

## AKP(Associated Kyoto Program)科目

AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ペイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

## スタンフォード大学科目

スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

## ジョイント・セミナー比較文化論

この科目はAKP(Associated Kyoto Program)の学生・教員との共同で実施されます。受講生の半数はAKPの留学生となり、本学とAKP双方の担当教員が合同で指導を行います。授業は全て英語で行われ、日本とアメリカの文化や社会についてディスカッションし、フィールドワークを行います。この授業を通じて国際理解を深め、英語の表現力を身につけてください。



## KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies)科目

KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、一年または一学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロムビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

## テュービンゲン大学科目

テュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのテュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年テュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているテュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をテュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、テュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)



## ▶ 兼修外国語

英語と6つの初修外国語の他に「兼修外国語」として2年次より「基礎イタリア語I・II・III・IV」を学ぶことができます。それぞれ週1回の授業でイタリア語の基礎を習得します。イタリアの文化や言語に関心のある人はぜひ受講してください。

# 多様なシステム・サポート体制

## “Go Global”ポートフォリオ

### “Go Global”ポートフォリオとは？

“Go Global”ポートフォリオとは将来、グローバルに活躍することを目指す皆さんの大学での学びをサポートするWebシステムです。自身の語学スコアや留学履歴を表示し、留学に関するレポートやアンケートを提出することができます。また、ポートフォリオというデータスペースに自分の学習の成果物をためて、後から振り返ることもできます。

### “Go Global”ポートフォリオでできること

- 語学スコアの登録
- “Go Global”Passport取得までの到達状況の確認
- 派遣留学の出願
- 短期・中期留学(サマー・スプリング・セメスター)プログラムの出願
- 留学、海外での学習歴の登録
- コミュニティ機能の活用

など、その他便利機能も満載です。ぜひ活用してください。 ※詳細なマニュアルはポートフォリオ上にアップしています。

### 実際にログインしてみましょう！

#### “Go Global”ポートフォリオログイン方法

ログイン <https://sso.doshisha.ac.jp>

同志社大学HPのWebシングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から“Go Global”ポートフォリオを選択してください。IDとパスワードは、ご自身のシングルサインオンのID、パスワードを入力してください。

## マイページ (トップページ)

ログインをすると最初に表示されるページです。お知らせや更新情報などが表示されています。

### ①マイポートフォリオ

ポートフォリオ(データベース)が表示されます。参加したコースの履歴が表示されるとともに、自身で設定した目標を記入したシートや提出した授業課題、アンケートなども蓄積されます。

### ②マイコース

あなたが参加しているコース一覧が表示されます。

### ③マイコミュニティ

あなたが参加しているコミュニティ一覧が表示されます。「国際課からのお知らせ」では学内で行われる語学講座の情報や留学フェア、外部機関からの情報などを提供しています。

### ④設定

まずは、リマインダ設定をしましょう。リマインダ設定は、「お知らせ」「コースニュース」「レポート開催通知」「コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ」「レポート提出のお知らせ」「自分のポートフォリオのコレクションに付いたコメントのお知らせ」の6点を「受信する」に設定してください。

### ⑤留学関連情報

本学で提供している留学プログラムに関する情報を入手することができます。また、各留学プログラムへの出願はここから行います。具体的な出願方法は、各プログラムの要項を確認してください。

### ⑥プロフィール

あなたのプロフィールが表示されます。語学スコアや留学・海外学習歴、“Go Global”Passport取得までの状況確認もここでできます。



## 語学スコア、留学・海外での学習歴の登録

語学スコアと留学・海外学習歴を登録しましょう。登録は、プロフィール画面より行うことができます。

### 語学スコア、留学・海外学習歴の登録

語学検定試験のスコアが登録できます。プロフィール画面より[新規登録]をクリックし、各項目を入力してください。

※語学スコアの登録には、スコア証明書の添付が必要です。



## “Go Global” Passport取得までの到達状況の確認

“Go Global” Passport の認定要件の到達度を“Go Global”ポートフォリオから確認することができます。すべての認定要件に到達することで、“Go Global” Passport認定者用のアイコンが表示されます。

### 1 プロフィールボタンをクリックします。

### 2 画面をスクロールし、「Go Global” Passport」認定要件の取得状況を確認できます。

### 3 すべての要件を達成すると「Go Global” Passport」認定者向けのアイコンが表示されます。

※認定要件の到達度は大学側で定期的に更新しますが、反映までに時間がかかる場合があります。 ※“Go Global” Passportの詳細は51ページを参照してください。



## e-Learning

同志社大学では、学生の自律的な学習を支援するため、「スーパー英語」と「Practical English」をオンライン自学自習教材として用意しています。共に、PCだけではなくお手元のスマートフォン、タブレットなどからもアクセスが可能ですので、隙間時間などを活用して計画的に学習してください。

※「スーパー英語」は学部生、大学院生(正規学生のみ)が利用可能ですが、「Practical English」は所定の科目の履修者のみ利用可能となります。

**スーパー英語 (Academic Express 3)** <https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/elearning.html#super-eigo>



### ■スーパー英語とは

スーパー英語は単語、文法、リスニング、リーディングの4つのスキルごとに豊富な学習リソースを備えたe-Learningシステムで、TOEIC®テストやTOEFL®テストといった資格試験対策にも最適です。同志社大学の正規学生であれば、登録料・利用料は不要で利用に際して申請は必要ありません。

### ■学習の流れ

#### ▶ Placement Quiz

学習開始前に10分程度の小テストで4つのスキルを判定。レベルに応じた教材を提案します。

#### ▶ Training Bank

Placement Quizの結果を参考に自分のレベルにあった教材で学習を始めましょう。Vocabulary、Grammar、Listening、Readingの4スキルを鍛えます。

#### ▶ Portfolio機能

ある程度学習が進んだら、Portfolio機能で学習状況を振り返り、苦手分野にも積極的に取り組むようにしましょう。

#### ▶ 週間!英語ドリル

毎週決まった曜日に新しい問題を出題し、学びの習慣をサポートする学習教材サービスです。

#### ▶ Test Bank

TOEFL®/TOEIC®/TOEIC Bridge®テストの模擬テストが配信されます(対象のテストの換算点あり)。本番前の腕試しとしてご利用ください。

### ■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。 <https://www.super-eigo.doshisha.ac.jp/student/main/login/>



**Practical English** <https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/elearning.html#practical-english>



### ■Practical Englishとは

初級～上級(TOEIC® L&Rテスト 225～990点)を対象とした、総合的な英語力をバランスよく強化できるe-Learningシステムです。こちらのe-Learningシステムは、以下の科目で利用します。

- ・Core English(LS)-Intermediate1、2
- ・Core English(LS)-Pre-Intermediate1、2
- ・Basic English(LS)1、2

### ■学習の流れ

#### ▶ 診断テスト

学習開始前に診断テストで各スキル(「Listening」「Reading」「Grammar」)の英語力を測定。アダプティブフォーカスで診断テストを基に、あなたに必要なレッスンを提供します。

#### ▶ スキル別のレッスン

「Listening」「Reading」「Grammar」のレッスンを受講。アダプティブフォーカスでレッスンの習熟度を分析して、最適なレッスンが提供され、総合的な英語力がバランスよく強化されます。

#### ▶ レッスンテスト

各レッスン終了後にレッスンテストがあります。テストが不合格の場合は再度レッスンを受講し、合格を目指してください。

※学習方法の詳細については、初回の対面授業時に説明がありますので、そちらを必ず確認してください。

### ■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。 <https://doshisha.reallyenglish.jp/login>



## 図書館の活用

場所: 今出川図書館(今出川) / ラーネット記念図書館(京田辺)

### 英文多読学習法 (Extensive Reading)

英語で書かれた平易な文章をできるだけ多く読むことによって、英語表現を自然な形で身につける。英文多読学習法(Extensive Reading)が最近注目を集めています。

#### ▶ 多読用資料(ESL)

多読用資料(ESL)は、外国語として英語を学ぶ学習者向けの、やさしい英語で書かれた外国語教材です。使用する主要な単語数を制限し、文章の量や文法事項を調整することで、学習者が辞書無しで読書を楽しめるように工夫されています。両校地の図書館で、「Macmillan Readers」や「Oxford Bookworms Library」等のシリーズを取り揃えています。また、今出川図書館ではドイツ語の教材も備えています。積極的に活用してください。

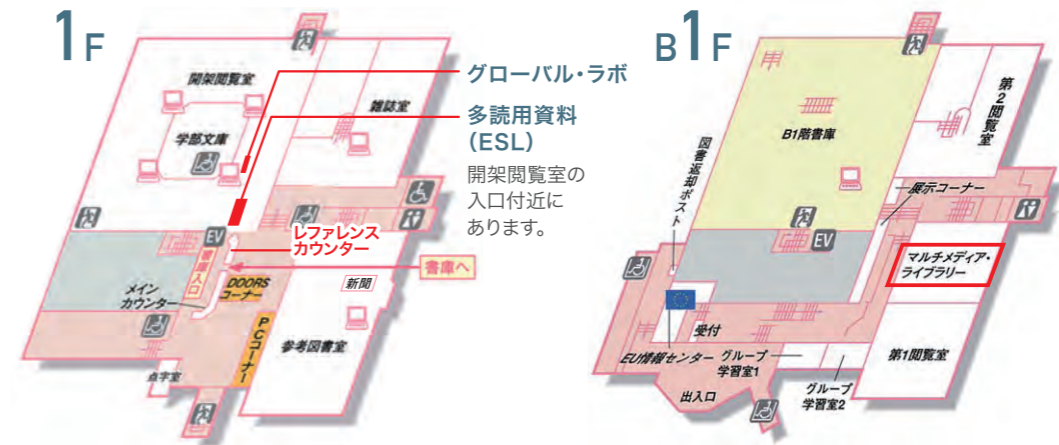
#### ▶ グローバル・ラボ

「グローバル・ラボ」では、「語学学習に役立つ・異文化理解を深める・日本文化を学ぶ」の3つをコンセプトに学びをサポートする資料を多数取り揃えています。語学学習だけでなく、留学や異文化理解等にも役立ててください。

#### ▶ その他の語学学習資料

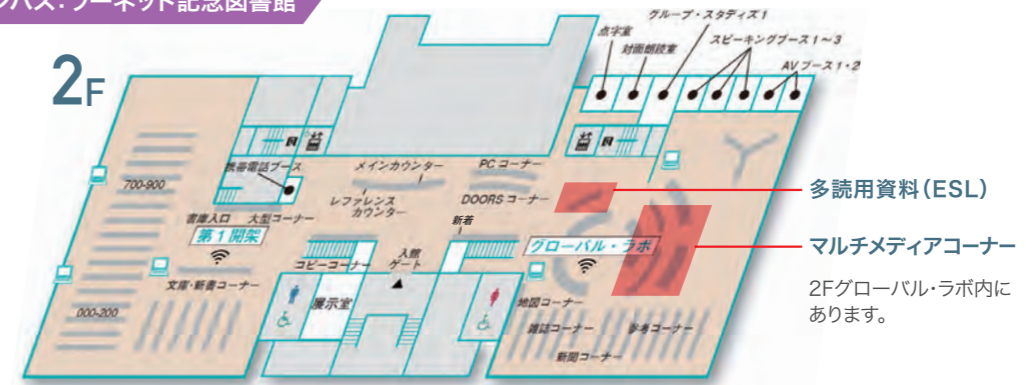
今出川図書館のマルチメディア・ライブラリー、ラーネット記念図書館のマルチメディアコーナーには、語学検定試験対策に使える教材を用意しています。CDやDVDがセットになっていますので有効活用してください。

### 今出川キャンパス: 今出川図書館



※2023年度秋学期以降の今出川図書館フロアマップは、図書館ウェブサイト(<https://library.doshisha.ac.jp>)でご案内予定です。

### 京田辺キャンパス: ラーネット記念図書館





## 電子書籍の活用

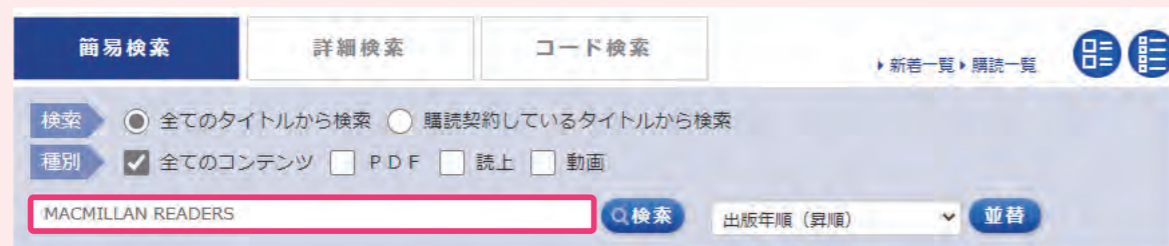
多読用資料(ESL)は、多数、電子化されています。電子書籍は、時間や場所を問わず、いつでもどこでも利用できる便利な資料です。

詳細は「同志社大学 試し読み」で検索、または図書館ホームページのバナーから「電子書籍試し読み」へアクセスして、ご確認ください。



### ■Maruzen eBook Libraryで利用した場合

- 1) 検索窓にキーワードを入力して検索します(出版社やジャンルでの絞り込みも可)。キーワードに「検索用」を追加すると、シリーズ一覧表示を検索できる場合があります。



- 2) 検索結果から、「試読」または「閲覧」ボタンを押すと読むことができます。

「試読」には一定時間の制限がありますが、制限なくアクセスするために図書館に購入を「リクエスト」することができます。購入済資料には「閲覧」ボタンが表示され、印刷やダウンロードが可能となります(一部資料を除く)。



- 3) 利用後は速やかに「閲覧終了」ボタンを押し、次の利用者のアクセスにご配慮ください。

### ■ESLシリーズの紹介

・Macmillan Readers(マクミランランゲージハウス)

Level	Level 1 Starter	Level 2 Beginner	Level 3 Elementary	Level 4 Pre-Intermediate	Level 5 Intermediate	Level 6 Upper Intermediate	Macmillan Literature Collections
語彙数	300	600	1100	1400	1600	2200	制限なし
CEFR	A1	A1	A2	A2-B1	B1-B2	B2	C1-C2

- ・Cambridge Experience Readers(Cambridge University Press)
- ・I Talk You Talk Press(I Talk You Talk Press)
- ・Pocket readers . 10 ways to(HALICO)

そのほか、Penguin Classics(Penguin Publishing Group)やVery Short Introduction(Oxford University Press)も電子書籍で利用できます。

## 良心館ラーニング・commons「Global Village」の活用

場所:良心館ラーニング・commons2階(今出川)

今出川キャンパス良心館ラーニング・commons2階に、「Global Village」というエリアがあります。ここでは、留学生と日本人学生の出会いを生み出す空間です。ハイカウンターやソファでリラックスした気分で国際交流が楽しめるほか(日本語禁止)、留学コーディネーターや留学アシスタント(後述)に留学に関する様々な相談・質問ができます。グローバル社会で活躍するために必要な能力を高めたいと考えている人は、ぜひ足を運んでください。



### ▶海外放送の視聴

「Global Village」では、BBCやCNNを含めた世界約170種類の海外放送の視聴が可能な設備を整えています。留学生と一緒に、留学生の母国の放送を楽しむのもよし、旅行する国の情報収集をするのもよし、利用の仕方は皆さんの工夫次第で様々です。積極的に活用してください。



### ラーニング・commonsについて

2013年に良心館ラーニング・commons(今出川)を、2018年にラーネット記念図書館ラーニング・commons(京田辺)をそれぞれ開設しました。ラーニング・commonsは「ひらめき」を「実現」に変えていく様々な仕掛けが用意された自学自習空間です。大学生として身につけておくべきスキルを、友人との共同学習や施設内で開催されるセミナー等を通じて培いましょう。詳しい利用方法については、ラーニング・commonsHP(<https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp>)を確認してください。

## 留学コーディネーター・留学アシスタント

場所:良心館ラーニング・commons2階(今出川)  
副業館1階国際課(京田辺)

専門の留学コーディネーターが、海外で培った豊富な知識や経験をベースに、皆さんの留学やグローバルキャリアデザインに関する相談に個別対応します。また、海外の協定大学から本学へ交換留学中の学生が留学アシスタントとして「Global Village」で留学に関する質問に対応します。



## 国際交流ラウンジ 場所:扶桑館2階(今出川) / 副業館1階(京田辺)

国際交流ラウンジは、外国人留学生と国内学生が国際交流を求めて集う場です。開室時間内であれば、本学学生は自由に利用できます。他にも、ラウンジでは異文化理解に有益な書籍や資料、学内外の国際交流企画を紹介するチラシ等が閲覧でき、また各種国際交流イベントも開催されています。語学力に自信がない方・国際交流に興味がなかった方でも気軽に利用できます。まずは様子を少しのぞいてみてください。国際交流ラウンジなら、日本に居ながらにして、国籍を超えた交流と多文化理解を実現できます。



## 検定試験・対策講座

グローバル化が急速に進展する中で、外国語運用能力は皆さんの今後の選択肢の幅を大きく左右することになります。まずは自分の実力を知り、そして目標を設定し、計画的に学習を進めるようにしてください。

### 検定試験

本学学生対象または本学を会場として受験できる検定試験は以下のとおりです。各自でテストスケジュールを確認し、積極的に受験してください。

#### ▶ TOEIC® L&R IPテスト

本学ではTOEIC® L&R IPテストを年8回(2022年度実績)実施しています。受験料はTOEIC® L&Rテストよりも安く、スコアは履歴書にも書くことができますので、ぜひ活用ください。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ TOEFL ITP® テスト

TOEFL ITP® テストは、過去に出題されたTOEFL PBT® テストの問題を使用した団体向けのテストプログラムです。本学では年7回(2022年度実績)実施しており、通常のTOEFL iBT® テストに比べて受験料が安いというメリットがあります。このテスト結果は公式スコアとして使用することはできませんが、自分の実力を測る目安として、また本学の留学プログラムへの出願や一部の英語科目登録条件として使用することができます。留学を目指す人は、積極的に受験してください。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ IELTS™ テスト

本学は一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)が一般向けに実施するテストにおいて、会場を提供しています。本学の留学プログラムにおいて、IELTS™のスコアで申請できるプログラムや協定大学も多くあります。通いなれた場所で実施されるテストを積極的に活用し、目標スコアの取得を目指してください。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ ドイツ語検定試験A1/A2(A1:Start Deutsch 1 A2:Goethe Zertifikat A2)

ドイツ語検定試験A1/A2は、CEFRに基づく共通参照レベルで最初の段階であるA1レベルと、その次の段階であるA2レベルに相当します。A1:Start Deutsch 1は基礎的なドイツ語能力があれば受験することができ、1年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。A2:Goethe Zertifikat A2は、2年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。(詳細は<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/osa/prf.html>を確認してください)



【問い合わせ先】 全学共通教養教育センター 【申込場所】 今出川校地:今出川キャンパス教務センター 【費用】 同志社大学で受験する場合 京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター A1:4,500円/A2:5,000円

### 対策講座

本学学生を対象に語学試験の対策講座を以下のとおり実施しています。検定試験のスコアアップを目指す方は、積極的に受講してください。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ TOEIC® L&Rテスト対策講座

本講座は、TOEIC® L&Rテストのスコアアップを目的に、レベル別にコースを設定し、外部講師を招いて開講します。講座受講には申込と受講料が必要になりますが、一般的な講座と比較して安価で受講することができますので、積極的に活用してください。なお、2023年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

#### ▶ TOEFL ITP® テスト対策講座

本講座は、TOEFL ITP® テストのスコアアップを目的に、外部講師を招いて開講します。TOEFL ITP® テストで取得したスコアは、本学の留学プログラムへの出願や語学スコアの提出を要する一部の英語で行われる科目への出願に使用することができます。留学を目指す人はもちろん、学内の英語で実施される授業に参加を考えている人も積極的に受講し、スコアアップに取り組んでください。(講座受講には別途申込と受講料が必要になります。) なお、2023年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

#### ▶ IELTS™ 対策講座

IELTS™は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカなど140ヶ国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学の派遣留学先の大学でも、語学能力を測る試験のひとつとしてIELTS™を設定している大学がたくさんありますので、講座を活用してスコアアップに取り組んでください。(講座受講には別途申込と受講料が必要になります。) なお、2023年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

## 留学に関する奨学金

同志社大学では、外国派遣留学促進のための奨学金が用意されています。これらは本学の教育理念のひとつである国際主義を体得した学生を養成すべく、皆さんの外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金ですので、ぜひ活用してください。

#### ▶ サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金は、サマープログラム及びスプリングプログラムに参加した学生に対し、50,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ セメスタープログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

セメスタープログラム履修者に対する奨学金は、セメスタープログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金は、EUキャンパスプログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】 国際センター国際課

#### ▶ 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金(給付制・返還不要)

外国協定大学派遣留学生に対する奨学金は、大学間協定または学部間協定による派遣留学生に対して、派遣留学期間が6ヶ月未満の場合は200,000円、6ヶ月以上の場合は400,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】 大学間協定による派遣留学の場合:国際センター国際課  
学部間協定による派遣留学の場合:所属学部窓口

## 語学カウンセリング

語学にまつわる疑問の解決、語学カアップ、目標達成のために、ぜひ利用してください。

グローバル・コミュニケーション学部ならびにグローバル地域文化学部では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語について、留学や検定試験、語学カアップのための学習方法等、語学に関する相談を受け付けています。希望される方は、今出川・京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて、所定の申込用紙に記入し申請してください。担当教員と面談日時を調整後、詳細を連絡します。

【問い合わせ先】 全学共通教養教育センター

【申込場所】 今出川校地:今出川キャンパス教務センター  
京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター



志高館



香柏館

# 7 Honors Programs 制度紹介

同志社大学から特別な認定書

## 外国語honors(オナーズ)制度 (外国語科目成績優秀者表彰制度)

外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。認定書授与式では学長から外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品が手渡されます。また、成績証明書にも外国語honors表彰者であることが記載されます。



申請資格・申請方法

<https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/honors/honors.html>



### オナーズ表彰者からのコメント

認定を目指してハイレベルな学びを。  
自分の目標もしっかり見据えて

英語認定 山崎 大輝 さん

幼稚園の頃から英会話教室に通っていたため、小学校・中学校・高校と英語は得意科目でした。大学では集中的に語学力を高めようと考え、通常の英語の授業に加えて「イングリッシュ・プラクティウム1」や「プロフェッショナル・イングリッシュB」などの上級科目も受講しました。ハイレベルなクラスで帰国子女の学生や留学生たちとともに学ぶことで、自分の学びにもとてもいい刺激をもらうことができました。さらに今出川校地でのみ開講されている「言語文化研究2」などの英語の授業も積極的に受講しました。

2年次のときに大学ホームページでオナーズを知り、目標として意識するように。認定のために必要な単位数やTOEICなどの外部検定試験のスコアも決まっているため、さらに学びを重ね、上達していくための大切な動機付けになったと思います。

所属のスポーツ健康科学部ではアスリートの脳や神経とパフォーマンスの関係を研究しています。卒業後も大学院で研究を続けたいですが、海外の文献を読んだり学会で発表したりするためには、高い語学力が必須です。明確な自分の目標のために勉強に取り組めたこと、そしてこのような認定を受けることができたことはとてもいい経験だったと思います。

オナーズへのモチベーションが  
大学生活全体を充実したものに

ロシア語認定 長尾 麻耶 さん

高校時代から音楽やドラマなど韓国のカルチャーに興味があり、大学では初修外国語にロシア語を選びました。

歌の歌詞やドラマのセリフなどが理解できるようになっていくのが楽しく、2年次では「インテンシブIII・IV」を受講しました。週3回の授業で、「読む・書く・聞く・話す」のすべてをバランスよく学べたこと、習得に向けて仲間たちとともに練習に励んだことで、クラスメイト同志の雑談をロシア語でできるようになるまで上達しました。また、2年次からオナーズ認定を目指していたため、日々コツコツと努力を重ねるための動機になり、3年次では「表現法1、2」を受講し、発信能力の向上に取り組みました。結果、法学部の勉強や国家公務員試験に向けた勉強にもロシア語と同じモチベーションで、バランスよく取り組むことができたと思います。

コロナの影響で、在学中に韓国に留学ができなかったことが心残りですが、学べば学ぶほど言葉を理解できる楽しさが、大学生活を充実させてくれたと思います。オナーズ認定で得た自信や、認定のために欠かさず努力を続けた日々を思い出しながら、自分の仕事に取り組んでいきます。

# Doshisha "Go Global" Passport

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha "Go Global" Passport」を授与します。

グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証となり、成績証明書に「Doshisha "Go Global" Passport」取得者であることが記載されます。

## 「Doshisha "Go Global" Passport」授与要件について

本学に2013年度以降に入学した学部生で、次のIまたはIIのいずれかを満たした者に「Doshisha "Go Global" Passport」を授与する。2021年度以前に入学した学部生は、授与要件が異なるため国際課HPを参照すること。

I. 次の①から④のいずれかを満たし、⑤及び⑥の全てを満たした者。

- TOEFL iBT® テスト79点以上(TOEFL iBT® Home Editionテストも可。「Test Dateスコア」のみとし、「MyBest™スコア」は認めない)、TOEFL ITP® テスト550点以上、TOEIC® L&Rテスト730点以上、TOEIC® L&R IPテスト730点以上、または別表に定めるこれらと同等の資格・スコアのいずれかを有すること。
- 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- 初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。
- 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。
- 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」のうち2科目の単位を修得すること。

II. グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者。

授与要件 ① を満たす英語の試験及び資格・スコア

試験名	級 / スコア	試験名	級 / スコア
TOEFL iBT® テスト (TOEFL iBT® Home Editionテストも可。)	79~	国連英検	A級以上(該当級:A、特A)
TOEFL ITP® テスト	550~	英検	準1級以上(該当級:準1級、1級)
TOEIC® L&Rテスト	730~	ケンブリッジ英検	First Certificate以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
TOEIC® L&R IPテスト	730~	CASEC	700~
IELTS™	6.0~		

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなす。  
※TOEFL iBT® スコアは「Test Dateスコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。 ※TOEIC® テストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

授与要件 ③ を満たす初修外国語の試験及び資格・スコア

言語	試験名	級 / スコア
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
フランス語	DELFB	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) (C1、C2は、試験名がDALFとなる)
	TCF 実用フランス語技能検定試験	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) 準1級以上(該当級:準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (GC中国語コースは5級以上) (5、6級については、3パート合計180点以上でクリア)
	中国語検定試験	3級以上(該当級:3級、2級、準1級、1級) (GC中国語コースは2級以上)
	中国語コミュニケーション能力検定	400~1,000点(該当級:レベル D、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級、3級、2級、1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級、1級)
ロシア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)
	「ハングル」能力検定試験	準2級以上(該当級:準2級、2級、1級)
	KLAT(IBKLP)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (IBKLPは350~500点)

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはならない。

国際課 Doshisha "Go Global" Passport

[https://international.doshisha.ac.jp/goglobal\\_passport/goglobal\\_passport.html](https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_passport/goglobal_passport.html)



# グローバル・リベラルアーツ副専攻

## 特徴

### POINT 1

#### すべての学部が受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、2016年度以降に入学したすべての学部の受講を希望する学生を対象としています。所属学部・学科の専門科目とは別に、全学共通教養教育科目を定められた要件に沿って履修することで、受講することができます。

### POINT 2

#### 授業は英語、少人数で留学生とともに学ぶ対話型授業

同志社大学では、2016年4月に「グローバル教育センター」を開設し、人文科学、社会科学、自然科学にわたる幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを20名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。事前学習を徹底し、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と異なる文化や多様な価値観をもつ人々と協働する力を身に付けることができます。

副専攻の英語開講科目には、アーモスト大学をはじめ、ハーバード大学やスタンフォード大学など、アメリカの名門大学からの留学生とともに学ぶ科目もあります。



### POINT 3

#### 広い視野と多面的な思考力の養成

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、英語で授業を行う科目に加えて、キリスト教についての理解を深める科目など、全学共通教養教育科目を日本語で幅広く履修します。自分の専攻分野とは異なる様々な学問分野を学ぶことによって、広い視野をもって多面的に物事を思考する力を養います。

### POINT 4

#### 外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、原則、外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。

### POINT 5

#### 海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに

同志社大学には外国協定大学派遣留学生制度があり、37ヶ国(地域)176大学(2022年12月2日現在)に半年間または1年間留学することが可能です。

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講すると効果的です。



### POINT 6

#### 修了すれば、証明書が発行されます

副専攻を修了すると証明書が発行されます。卒業年次の定められた期間に副専攻修了申請を行ってください。

修了するためには、副専攻の英語開講科目を8単位以上修得することを含め、定められた要件にしたがい、全学共通教養教育科目を合計20単位以上修得し、TOEFL ITP® テスト550点相当以上のスコアを提出する必要があります。

### POINT 7

#### 副専攻英語開講科目は、1科目のみでも受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、1科目のみでも受講することができます。したがって副専攻の修了を目標にしない場合でも、科目内容への関心に応じ、1科目からチャレンジすることができます。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、副専攻完修希望者に科目受講を保証するものではありません。クラス定員、時間割などの都合により、受講できない場合があります。

## 「グローバル・リベラルアーツ副専攻」修了要件について

次の①から⑤のすべてを満たすこと。

- ① 全学共通教養教育科目のうち、「国際教養科目」及び「クリエイティブ・ジャパン科目」の「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」から8単位以上修得すること。
- ② 全学共通教養教育科目のうち、「同志社科目」、「宗教学(1)」、「宗教学(2)」から4単位以上修得すること。
- ③ 全学共通教養教育科目のうち、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」からそれぞれ2単位以上、計6単位以上修得すること。(3分野にわたり単位を修得すること。)
- ④ 全学共通教養教育科目のうち、「キャリア形成支援科目」、「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」以外の「国際教養科目」と「クリエイティブ・ジャパン科目」、「複合領域科目」、「プロジェクト科目」、「保健体育科目」の中から2単位以上修得すること。
- ⑤ 本学入学以降に受験した以下のいずれかの試験で、定められたスコアを得ていること。
  - TOEFL iBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト 79点以上
  - TOEIC® L&Rテスト、TOEIC® L&R IPテスト 730点以上
  - TOEFL ITP® テスト 550点以上
  - IELTS (IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版(BCD IELTS)、IELTS TOEFL® Essentials™テスト Overall band score 8.5以上
  - オンライン版、IELTS for UKVI) Overall band score 6.0以上

※「宗教学(1)」、「宗教学(2)」は、上記②または③のいずれか一方の単位として算入する。  
 ※免許・資格の取得に必要な科目のうち、科目登録時に「M」を付けて登録した科目は、「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。  
 ※自由科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。  
 ※詳細については「全学共通教養教育科目履修要項」を参照すること。  
 ※⑤について、2020年4月以降のTOEFL ITP® テストのスコアは、本学実施のもののみ可。TOEFL iBT® テスト及びTOEFL® Essentials™テストについて、「Test Dateスコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)のスコアは認められない。  
 ※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形である。

### ▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

	科目名	科目区分	
海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program		
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context		
	Introduction to Japanese Society in the Global Context		
	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context		
応用・発展	Humanities and Global Issues		
	Social Sciences and Global Issues		
	Natural Sciences and Global Issues		
各論・展開	Japan in Modern World History	国際教養科目	
	International Relations in the Postwar Era		
	Issues in Japanese Culture		
	Democracy and Politics : A Comparative Perspective		
	Education in the Age of Globalization		
	Issues in Intercultural Communication		
	Economy and Business in the Global Context 1		
	Economy and Business in the Global Context 2		
	Principles of Economics		
	Environmental Economics and Sustainability		
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1		
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2		
	The Divisions of Identity in Society		
	Statistics for the Social Sciences and Humanities		
	Introduction to Computer Science and Information Technology		
	Human Science in the Global Age		
	Introduction to Quantitative Data Analysis		
	Conservation of Japanese Nature and Environment		
	Mathematics and its History		
	Science of Natural Disasters		
Advanced Seminar 1			
Advanced Seminar 2			
Advanced Seminar 3			
外国協定大学科目	Japanese Thought and Religion 1	クリエイティブ・ジャパン科目	
	Japanese Thought and Religion 2		
	Tradition and Art in Japan 1		
	Tradition and Art in Japan 2		
	Japan Today 1		
	Japan Today 2		
	スタンフォード大学科目		国際教養科目
	AKP科目		
KCJS科目			



Doshisha University